

豊橋市自然史博物館年報

第 30 号

平成 29 年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 30
2017-2018

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History
Toyohashi 441-3147, Japan

は　じ　め　に

豊橋市自然史博物館は、生物がたどってきた生命の歴史を学び、自然に親しみ、自然を大切にすることを目的に、昭和 63 年 5 月 1 日に開館しました。昨年度の入館者は前年度より 5,466 人多い 655,490 人で、開館以来の延べ入館者は、14,313,837 人となりました。

第 32 回特別企画展「武器甲虫」では世界各地のクワガタ、カブトなどの標本 500 種以上を展示して、ツノや大アゴなどの武器形質の進化について分かりやすく紹介しました。クワガタ、カブトと触れあえる巨大ケージや紙アプリを使ったゲームなどの体験コーナーは、特に子どもたちに好評で、7 月 14 日から 9 月 3 日までの会期中（46 日間）に 19,166 人の観覧者がありました。また、関連事業として記念講演会「クワガタ、カブトの系統進化」及び「性決定遺伝子で探る甲虫の武器」を開催したほか、ナイト ZOO の開催に合わせてワークショップ「夜の“のんほいパーク”クワガタ、カブト観察会」を実施しました。

企画展では「ボランティアが作った科学教材」、「丸山隆写真展『ホンドテン』」、「戌一ノすにちなむ一」、「自然史博物館新蔵標本」を開催しました。また、児童生徒の科学教育振興のため、夏休みの自由研究のテーマや研究方法について助言する「自由研究相談」や市内小中学校からの優秀作品を展示する「第 13 回自然史博物館自由研究展」を開催しました。自由研究展の応募校数、応募点数は過去 5 年間で最多となりました。

大型映像は「ガラパゴス」や「恐竜大研究」など 10 作品を上映し、31,329 人が観覧しました。また、新たなイベントとして、「のんほいパーク ナイトドリーム」の開催に合わせて、夜の博物館を探検し 10 個の宝石を集める「ナイトミュージアム de 宝さがし」を、二川地区連携事業では二川地区にある 5 施設を巡って謎を解く「謎解き フタガワ CODE」を開催しました。

東三河ジオパーク認定への取組では東三河ジオパーク構想推進準備会において、ジオパーク構想のテーマ及びストーリーのとりまとめやジオサイト候補地の選定を進めたほか、ジオツアーやシンポジウムを開催しました。また、平成 28 年度からの継続事業「ジオガイド養成講座」に引き続き、修了試験合格者を対象とした「ジオガイド認定講座」を開始しました。

その他の教育普及事業として、収蔵庫見学会などの「解説会」や化石発掘体験などの「ワークショップ」、名古屋大学の皆さんによる「名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017」などを開催したほか、小中学校や各種団体等への出前講座、博物館実習生や職場体験学習の生徒の受入れなどを行いました。

また、平成 27 年 7 月に市内高塚町の表浜海岸に漂着した全長約 14 m のマッコウクジラの骨格発掘作業を国立科学博物館の協力を得ながら行うなど、博物館資料の収集や調査研究に取り組みました。

連携協定を結んでいる名古屋芸術大学との協働事業では、ミュージアムコンサートの開催や特別企画展に合わせたコーカサスオオカブトの巨大模型の制作を行いました。

毎週土・日曜日に開催しているボランティアガイドツアーは 190 回開催し、参加者は 4,000 人を超えました。博物館ボランティアの皆さんの長年にわたる活動の積み重ねが認められ、平成 29 年度豊橋市教育奨励賞受賞という大変喜ばしい出来事もありました。

ここに平成 29 年度の主な事業を報告し、皆様のご指導、ご鞭撻をいただきながら、来館される全ての方がご満足いただける魅力ある博物館となるよう、職員一同努力してまいります。

平成 30 年 6 月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに

I. 年間事業

1. 平成29年度のあゆみ ----- 5
2. 教育普及活動
 - (1) 第32回特別企画展「武器甲虫」 --- 6
 - (2) 企画展
 - 1) ボランティアが作った科学教材 - 13
 - 2) 丸山隆写真展「ホンドテン」 --- 13
 - 3) 戌一イヌにちなむ --- 13
 - 4) 自然史博物館新蔵標本 ----- 13
 - (3) トピック展示 ----- 14
 - (4) 大型映像 ----- 15
 - (5) 東三河ジオパーク構想事業 ----- 16
 - (6) ワークショップ・解説会など
 - 1) 講演会 ----- 18
 - 2) ワークショップ ----- 18
 - 3) 解説会 ----- 20
 - 4) 収蔵庫見学会 ----- 21
 - 5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017 - 22
 - (7) 総合動植物公園関連イベント
 - 1) ナイトZOO ----- 22
 - 2) ナイトミュージアムde宝さがし --- 23
 - (8) 第13回自然史博物館自由研究展 - 23
 - (9) 自由研究相談 ----- 25
 - (10) 市民からの質問等対応 ----- 25
 - (11) 小中高等学校等の学習支援
 - 1) 標本貸出セット ----- 25
 - 2) 職場体験学習等 ----- 27
 - 3) わくわく体験活動 ----- 27
 - 4) 高等学校・大学の学習利用 ---- 27
 - 5) 校外学習等 ----- 28
 - 6) 授業・学習支援センターへの協力 -- 28
 - (12) 博物館実習生等の受入れ
 - 1) 平成29年度博物館実習 ----- 28
 - 2) 大学の博物館学関連実習等 ---- 29
 - (13) 研修生等の受入れ
 - 1) 現職教員の研修等 ----- 29
 - 2) インターンシップ ----- 29
 - 3) 教員研修等 ----- 30
 - 4) その他 ----- 30

- (14) 出版活動 ----- 30
 - (15) 連携・共催事業等
 - 1) 名古屋芸術大学との連携協定事業 - 31
 - 2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク - 31
 - 3) 企画展「戌一イヌにちなむ」 - 31
 - 4) 二川地区連携事業
「謎解き フタガワCODE」 ----- 32
 - 5) AELネット環境学習スタンプラリー - 32
 - (16) 講師・委員の派遣等
 - 1) 出前授業 ----- 33
 - 2) 講義・講演 ----- 34
 - 3) 委員等の委嘱、派遣 ----- 35
 - 4) 「なごや生物多様性センターまつり」への出展 - 35
- ### 3. 調査研究活動
- (1) 学芸員の研究業績等 ----- 36
 - (2) 研究会等への参加 ----- 40
- ### 4. 資料の収集・保管活動
- (1) 採集資料 ----- 41
 - (2) 寄贈資料 ----- 42
 - (3) 収蔵資料状況 ----- 45
 - (4) 鳥類等の資料化 ----- 45
 - (5) マッコウクジラの発掘 ----- 45
 - (6) 外部研究者の資料利用 ----- 45
 - (7) 資料及び標本の貸出・借用 ----- 45
 - (8) 図書 ----- 47
- ### 5. 施設整備
- (1) 修繕等 ----- 48
- ## II. 利用状況
- ### 1. 入館者
- (1) 自然史博物館利用統計 ----- 49
 - (2) 入館者種別 ----- 50
 - (3) ホームページ閲覧者数 ----- 51
 - (4) 石巻自然科学資料館入館者状況 - 52
- ## III. 組織及び運営
- ### 1. 組織
- (1) 運営組織 ----- 53
 - (2) 自然史博物館職員 ----- 53
- ### 2. 博物館の使用料等 ----- 53
- ### 3. 決算
- (1) 平成29年度歳入歳出決算見込 --- 54
- ### 4. 豊橋市自然史博物館協議会 ----- 55

5. 各種委員会	
(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会	- 56
(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会	- 56
(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会	- 56
6. 自然史博物館ボランティア	----- 57
IV. 条例、規則、要綱	----- 60
自然史博物館の概要	----- 66

I. 年間事業

1. 平成 29 年度のあゆみ

29. 4. 1. 大型映像「ガラパゴス」「恐竜大研究」他（～ 6. 25）
4. 12. 東三河管内小中学校校長会
4. 22. 企画展「ボランティアが作った科学教材」（～ 6. 4）
5. 11. 自然史博物館ボランティア総会
5. 20. トピック展示「ナメクジウオ、スナガイ」（～ 6. 11）
6. 3. さかなクン ギョギョットとお魚教室
6. 13. トピック展示「カタツムリ」（～ 8. 8）
6. 27. 第 1 回自然史博物館研究委員会
7. 14. 特別企画展「武器甲虫」（～ 9. 3）
7. 15. のんほいパークファン感謝デー（～ 7. 16）
7. 19. 豊橋駅に特別企画展 PR 模型設置（～ 8. 31）
7. 20. 自由研究相談（～ 8. 31）
7. 23. 記念講演会「クワガタ、カブトの系統進化」
7. 25. 第 1 回自然史博物館協議会
7. 28. 博物館実習生受入れ（～ 8. 4）
8. 1. 自然史博物館ボランティア豊橋市教育奨励賞受賞
8. 2. 愛知教育大学教職大学院研修受入れ（～ 8. 6）
8. 6. 記念講演会「性決定遺伝子で探る甲虫の武器」
8. 9. トピック展示「セミ」（～ 10. 5）
8. 23. 田原市理科部会研修受入れ
8. 24. 5ブロック教員研修受入れ
9. 17. マーラお別れ会
9. 20. 第 2 回自然史博物館研究委員会（～ 9. 24）
9. 23. 大型映像「ティラノサウルス」「ミーアキャット」他上映開始（～ 3. 23）
10. 4. マッコウクジラ発掘作業（～ 10. 5）
10. 6. トピック展示「ドングリ」（～ 11. 30）
10. 14. 第 13 回豊橋市自然史博物館自由研究展（～ 11. 12）
10. 24. 日本ジオパーク全国大会参加（男鹿市）（～ 10. 26）
11. 10. 園内地震防災訓練
11. 18. 企画展「丸山隆写真展『ホンドテン』」（～ 12. 10）
- ナイトドリーム「ナイトミュージアム de 宝さがし」
12. 7. 第 2 回自然史博物館協議会
12. 16. 企画展「戌ーイヌにちなむー」（～ 1. 14）
12. 20. 小学校生活科研究部研究大会
12. 22. 恐竜大掃除
30. 1. 2. 二川地区連携事業「謎解き フタガワ CODE」（～ 2. 28）
2. 15. 全国科学博物館協議会総会参加（福岡市）（～ 2. 16）
2. 18. 名古屋芸術大学ミュージアムコンサート
3. 1. 第 3 回自然史博物館協議会市外博物館調査研修（豊山町）
3. 9. 第 3 回自然史博物館研究委員会
3. 10. 企画展「自然史博物館新蔵標本」（～ 4. 8）
3. 14. 園内消防訓練
3. 24. 大型映像「ジュラシックヒーローズ」「オーロラを見た恐竜たち」他上映（～ 6. 23）
- ナイトドリーム「ナイトミュージアム de 宝さがし」（3. 25、3. 31 も開催）

2. 教育普及活動

(1) 第32回特別企画展「武器甲虫—クワガタ、カブトの進化を探る—」

開催期間：平成29年7月14日（金）
～9月3日（日） 46日間

会場：特別企画展示室（約600㎡）

主催：豊橋市自然史博物館

概要：クワガタムシ、カブトムシの進化と多様性を、巨大なツノや大アゴといった「武器形質」の誕生と進化を主テーマに開催した。500種を超えるクワガタムシ、カブトムシの標本展示、生きたクワガタムシ、カブトムシを間近に観察できる巨大ケージや紙アプリを使った対戦ゲームでクワガタムシ、カブトムシの系統や闘争行動を紹介するとともに系統分類学、動物行動学、生理学や進化発生生物学等の最新の研究成果についても紹介した。

展示点数：約6,000点（うち、クワガタムシ、カブトムシ500種以上）



【展示構成】

1. プロローグ

- (1) 武器を持った昆虫
- (2) 甲虫とコガネムシの仲間

2. カブトムシ

- (1) アジアのカブトムシ
- (2) 南北アメリカのカブトムシ
- (3) 広義のカブトムシたち

3. クワガタムシ

- (1) 「祖先系統群」のクワガタムシ
- (2) 「南半球固有系統群」のクワガタムシ
- (3) 「真性クワガタムシ系統群」のクワガタムシ
- (4) 「武器形質」を捨てたクワガタムシ

4. オスとメスと武器の進化

- (1) ♂♀クイズ 正しいオスとメスの組み合わせわかるかな？
- (2) ギナンドロモルフ
- (3) 武器形質を発現させる遺伝子
- (4) 大きな個体が大きな武器を作るしくみ

5. 闘え！

- (1) クワガタ、カブトの闘い
- (2) 紙アプリ「甲虫バトラー」
- (3) ノコギリクワガタの闘争行動
—クワガタだって負けると落ち込む？—
- (4) 闘わない道

6. ふれあい甲虫ケージ

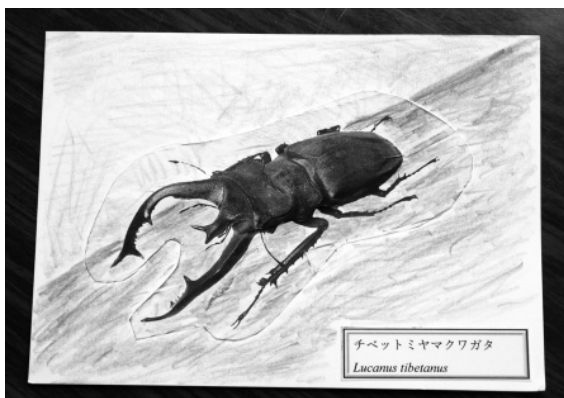
7. クワガタムシ、カブトムシの栄養生理

【体験コーナー】

① 「立体クラフトカード」をつくろう

ヘラクレスオオカブト、コーカスオオカブト、チベットミヤマクワガタ、ラコダールツヤクワガタの中から好きなもの一つを選ん

で、立体クラフトカードを製作。



②紙アプリ「甲虫バトル」

専用用紙に自分の好きなオリジナル武器甲虫を描き、家族や友達の描いた武器甲虫と対戦するバトルゲーム。



③ふれあい甲虫ケージ

幅4m×長さ10mの巨大ケージにヘラクレスオオカブト、アクテオンゾウカブト、カブトムシ、ギラファノコギリクワガタ、オオクワガタ等250頭以上を放し飼いにし、直に観察したり、触れ合ったりできる生体展示コーナーを設置した。



【関連行事】

①記念講演会

「クワガタ、カブトの系統進化」

期 日：平成29年7月23日（日）

講 師：荒谷邦雄さん（九州大学教授）

参加者：56人（定員60人）



②記念講演会

「性決定遺伝子で探る甲虫の武器」

期 日：平成29年8月6日（日）

講 師：新美輝幸さん（基礎生物学研究所教授）

参加者：58人（定員60人）



③観察会「夜ののんびりパークで野生のクワガタ、カブトを観察！」

期 日：平成29年7月22日（土）

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

参加者：21人（定員20人）

④クワガタムシのサンバイザープレゼント

小学生以下の観覧者先着1,500人にクワガタムシをデザインしたサンバイザーをプレゼントした。

対 象：小学生以下の観覧者



【特別展示】

「雌雄モザイクのノコギリクワガタの飼育展示」

体の左半分がオス、右半分がメスの雌雄モザイクのノコギリクワガタの生きた個体が、期間中に蒲郡市の野田健二さんから寄贈されたことから、7月27日（金）より会場内で展示を行った。



【名古屋芸術大学との連携事業】

①「コーカサスオオカブトのオブジェ制作」

特別企画展をPRするため、名古屋芸術大学研修生の加藤真浩さんほか、学生により制作されたコーカサスオオカブトの巨大模型のオブジェを豊橋駅に設置した。

設置期間：平成29年7月19日（水）～8月31日（木）

【事業費】

総事業費 8,900千円（予算額）

【観覧者数】

有料 10,990人
無料 8,176人
合計 19,166人
（1日平均 417人）

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7月	15日間	2,442	2,144	4,586
8月	28日間	7,487	5,108	12,595
9月	3日間	1,061	924	1,985
計	46日間	10,990	8,176	19,166

【観覧料】

大人 500円（400円※1、250円※2）
小中学生 200円（160円※1、100円※2）

※1 30人以上の団体割引料金

※2 ナイトZOO開館中の料金（8/11～20、8/26、8/27、9/2、9/3）

【印刷物】

- ・ポスター B2 カラー（2,500枚）
- ・広報用チラシ A4 カラー（90,000枚）
- ・招待券カラー（2,000枚）
- ・案内状（600枚）
- ・展示解説書「クワガタムシ、カブトムシ学の最新研究」A4 カラー、56ページ（700部）

【協力者・協力機関】

（個人）荒谷邦雄、藤田 宏、奥島雄一、久保田耕平、森田慎一、新美輝幸、鈴木良芽、三島達也、栗原 隆、倉田智子

（機関）基礎生物学研究所、東京大学、名古屋大学、栃木県立博物館、倉敷市立自然史博物館、桜丘高等学校生物部、愛知県立豊丘高等学校自然科学同好会、九州大学大学院、豊橋市自然史博物館ボランティア（順不同、敬称略）

【特別企画展来館者アンケート集計結果】

質問	項目	人数	構成比(%)
年齢	未就学児	115	15.5
	小学生	220	29.6
	中学生	23	3.1
	高校生	4	0.5
	大学生・大学院生	6	0.8
	20代	46	6.2
	30代	126	17.0
	40代	135	18.2
	50代	20	2.7
	60代以上	47	6.3
	計	742	100
	性別	男性	394
女性		348	46.9
計		742	100
住所	豊橋市内	105	42.0
	東三河	29	11.6
	西三河	21	8.4
	尾張・名古屋	18	7.2
	静岡県	29	11.6
	岐阜県	3	1.2
	三重県	2	0.8
	その他	23	9.2
	不明	20	8.0
	計	250	100
来館回数	はじめて	49	21.0
	2-9回	93	39.9
	10回以上	84	36.1
	不明	7	3.0
	計	233	100
来館目的	特別企画展	173	61.8
	常設展	19	6.8
	動植物公園	68	24.3
	その他	15	5.4
	不明	5	1.8
	計	280	100

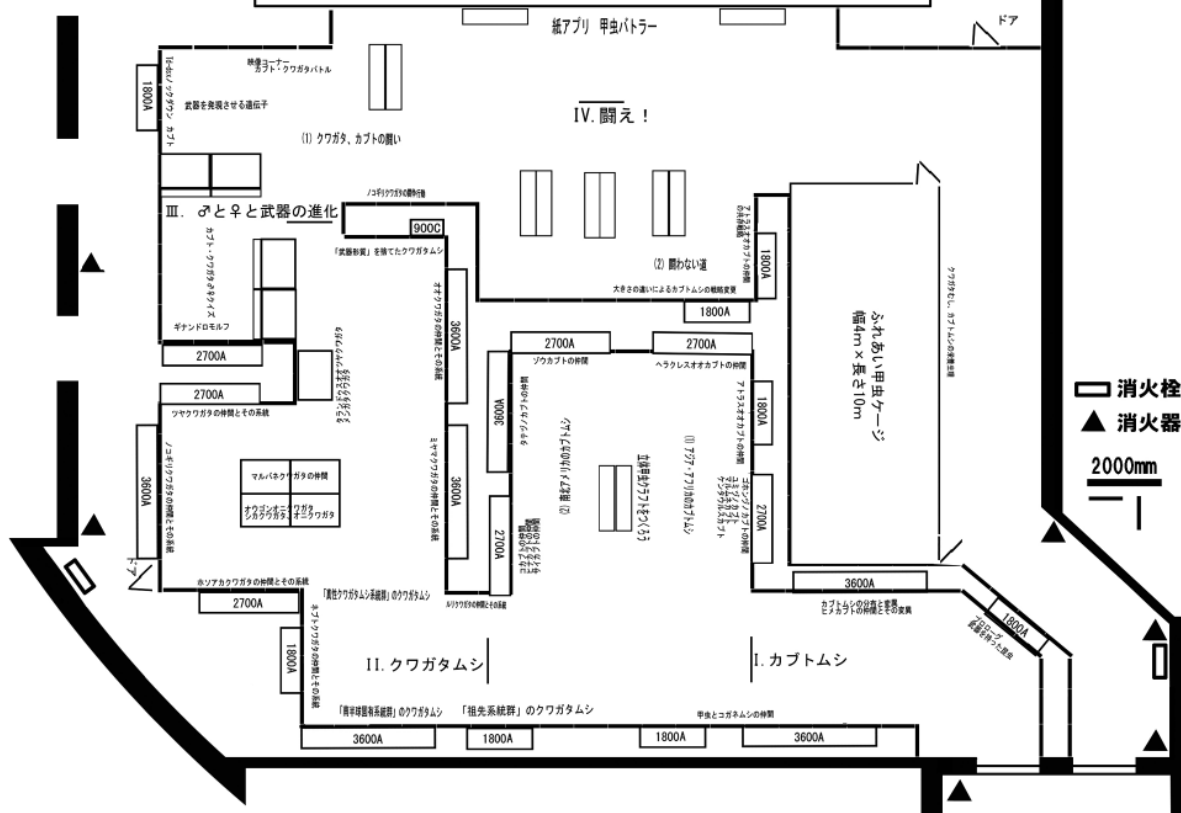
情報源	動植物公園内	59	21.1	
	広報とよはし	19	6.8	
	新聞	21	7.5	
	テレビ	13	4.7	
	ラジオ	1	0.4	
	口コミ	24	8.6	
	SNS等	44	15.8	
	チラシ・ポスター	77	27.6	
	豊橋駅オブジェ	12	4.3	
	その他	9	3.2	
	計	279	100	
	全体の感想	とてもよい	165	69.0
よい		53	22.2	
ふつう		14	5.9	
わるい		1	0.4	
不明		6	2.5	
計	239	100		
よかった展示物	標本	93	16.5	
	立体クラフトカード	65	11.5	
	雌雄モザイク	71	12.6	
	最新研究	36	6.4	
	甲虫バトラー	126	22.3	
	ふれあい甲虫ケージ	169	30.0	
	その他	4	0.7	
	計	564	100	
	対応がよかったのは	受付	130	29.3
		教育普及ボランティア	106	23.9
高校生ボランティア		86	19.4	
博物館スタッフ		121	27.3	
計		443	100	
対応が悪かったのは	受付	9	27.3	
	教育普及ボランティア	6	18.2	
	高校生ボランティア	7	21.2	
	博物館スタッフ	11	33.3	
	計	33	100	

[感想等自由意見]

- ・手作り感があってとても楽しかった。コンピュータでの戦いに子供が大喜びでした。
- ・普段我々が見るカブトムシやクワガタがコガネムシを祖先とすることにとっても驚きました。
- ・生きた甲虫をケース外で放し飼いの的に展示しているのも資料的な詳細展示も見ごたえ感があってよかった。
- ・コンピュータバトルが意外と面白かった。
- ・かわいいカブトムシと触れ合えてよかった。
- ・とっても面白くて子供は今日で3回目でした。
- ・素晴らしかったです。ネットで「本気の展示と評判でしたが、たがわず子供だけでなく大人もじっくり楽しく学べる展示でした。
- ・前は立体カードの作り方がよくわからなかったが、今回は受付の方が丁寧に子供に教えてくれたので子供と楽しく一緒に作ることができました。生きたクワガタ、カブトに触れることができよかったです。
- ・これからも様々な企画を楽しみにしています。
- ・こんなに近くで見られることがなかなかなく、ギラファやヘルクレスがしっかり観察できて本当にうれしそうでした。
- ・受付のおじさん、楽しかった。
- ・良い体験をさせていただきました。
- ・雌雄モザイクをしっかりと見たのが初めてだったので楽しかったです。
- ・カブトムシやクワガタムシがたくさんいてびっくりしました。
- ・受付で子供が楽しめそうな話をしてくれたのがよかった。
- ・女子高校生でも楽しめました。
- ・バトラー、触れ合い、すごく楽しんでいました。
- ・子供が虫が好きでとても喜んでいました。
- ・また、幼児の子供が小学生になったら見たいです。
- ・とても楽しく見学できました。高校生ボランティアは子供にいろいろと話しかけてくれてよかったです。
- ・たくさん触れて楽しかったです。
- ・ありがとうございました。とても勉強になりました。
- ・息子（小4）は大興奮していました。
- ・子供が虫に興味を持ち、正直いやいやでしたが、育てているうちに少し愛着がわき、とても勉強になりました。
- ・甲虫バトラーが楽しかった。
- ・遠いのでなかなか来られませんが、楽しかったです。
- ・子供の興味につられて一緒に来ましたが、標本などもたくさん見ることができてよかったです。（図鑑などで見るのとは全く違って数もすごいと思いました。）子供は触れ合いクワガタ、カブトがとても気に入っていました。また来たいです。ありがとうございました。
- ・ギラファノコギリクワガタとカブトムシのバトルを見られてよかった。
- ・また、このような企画展をしていただけると嬉しいです。
- ・コーカサスやアトラスが見たかった。レアなクワガタに触れてよかった。
- ・生きている、動いているカブトムシを間近に見られたことを子供は大変感動していた。
- ・大人一人なのにかまっただきありがとうございました。おんぼろじゃない標本は初めてで、すごくよかったです。テントウムシとかオトシブミとか見られてよかったです。
- ・触れ合いの森のボランティアの男の子がいろいろ教えてくれて楽しかった。
- ・クワガタの雌と雄がまざったのがすごかった。
- ・標本の素晴らしさ。
- ・2回目です。何度見てもよいです。来年期待しています。

- ・また次も武器甲虫を開いてください。
- ・生きたクワガタやカブトムシが見られてよかったです。なかなか見ることができないヘルクレス等見られてよかったです。ありがとうございます。
- ・大人も楽しめました。
- ・ただ単に昆虫標本を並べたのではなく、九大のスライドや子供の楽しめる工夫があって、親子で来て楽しめた。15～20年前にここでしたものより良かった。
- ・バトルに負けて悔しかったです。
- ・カブトムシを飼いたがる人の気持ちがわかった。
- ・小さな子が見られるような踏み台の設置（標本のところ）や標本に支障のない範囲での明りの設置（見えにくかった）、パネル等にルビを付けてほしかった（小学生が読めるように）。せっかく展示されていても様々な配慮が足らず楽しめない。
- ・その他のツノ付きの甲虫類についても紹介してほしい。
- ・ふれあいの森のヘルクレス、カブトが動かないのが残念だった。クワガタがケースに展示してあったが、もっと大きく見やすい展示にしてほしいと思った。
- ・触れ合いコーナーで、子供がクワガタに触れると思っていましたが、触れなくてとてものがっかりしました（パンフレットの写真では子供がクワガタに触っている）。誤解を招くような写真は載せないでほしいですし、実際に触れると（木に留っている虫を木ごと持たせてくれるだけでも）満足できると思うので触らせてほしいです。
- ・触れ合いクワガタ・カブトの森にて、臭いと嫌がったり触れなかったりしたので、苦手な子が好きになれるような工夫があるとよいかもしれません。
- ・展示物が多いが、ガイドがないとよくわからないのが残念でした。
- ・工作での色鉛筆の芯が折れていたの、鉛筆削りがほしい。
- ・入場料が高い。
- ・新聞で見た雌雄モザイクのクワガタを見に来たが、よく見えなくて残念でした。
- ・クワガタ、カブトのグループ内での進化について知る機会がなかったので、新鮮でした。コガネムシ科の標本に葉食性ものがないのが気になりました。
- ・もっと種類が多いといい。さわればもっといい。
- ・カブトムシの飼育箱の中で倒れている、ひっくり返っているのがそのままですごくかわいそうだと思った。あと、飼育箱の大きさと小バエの多さも気になりました。
- ・再入場できなかったのがNG。
- ・小さい昆虫標本が見えないので、ルーペを置いてあるといいなと思いました。
- ・「ふれあいワガタ・カブトの森」を壁の絵の内側に網を敷いてほしい。飛んでいるとき、カブトも疲れて傷を負ったり死んだりするし、人にも当たってあぶない。
- ・世界のクモが見たいです。世界のクモ展、よろしくお願いします。

豊橋市自然史博物館 第32特別企画展
「武器甲虫—クワガタ、カブトの進化を探る—」 会場図



(2) 企画展

1) ボランティアが作った科学教材

開催期間：平成 29 年 4 月 22 日（土）～ 6 月 4 日（日） 39 日間

会 場：イントロホール

主 催：豊橋市自然史博物館

概 要：自然史博物館ボランティアがこれまでに製作した様々な科学教材を紹介。

会期中入場者数：149,552 人



2) 丸山隆写真展「ホンドテン」

開催期間：平成 29 年 11 月 18 日（土）～ 12 月 10 日（日） 20 日間

会 場：イントロホール

主 催：豊橋市自然史博物館

概 要：長野県松本市在住の写真家、丸山隆さんが 2011 年から 5 年間かけて安曇野で撮影、記録した貴重な写真からホンドテンの生態を紹介。

会期中入場者数：29,317 人



3) 戌—イヌにちなむ—

開催期間：平成 29 年 12 月 16 日（土）～平成 30 年 1 月 14 日（日） 23 日間

会 場：イントロホール

主 催：豊橋市自然史博物館

協 力：浜松市博物館

概 要：イヌをはじめ、イヌブナ、イヌモンキチョウなど、平成 30 年の干支の動物イヌに因んだ生物や民俗資料などを展示。

会期中入場者数：37,939 人



4) 自然史博物館新蔵標本

開催期間：平成 30 年 3 月 10 日（土）～ 4 月 8 日（日） 20 日間

会 場：イントロホール

主 催：豊橋市自然史博物館

概 要：平成 29 年度に新しく収集した標本や学芸員の調査研究成果を展示。

会期中入場者数：55,026 人



概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物の紹介と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：29,317人

4) 総合動植物公園内で見られるドングリ

開催期間：平成29年10月6日（金）～11月30日（木）48日間

会場：イントロホール

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているドングリの実物の紹介と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：95,237人

(3) トピック展示

1) ナメクジウオ、スナガイ

開催期間：平成29年5月20日（土）～6月11日（日）20日間

会場：イントロホール

概要：愛知県内で発見されたナメクジウオ、スナガイを紹介。

会期中入場者数：46,825人

2) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：平成29年6月13日（火）～8月8日（火）49日間

会場：イントロホール

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物の紹介と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：63,617人

3) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：平成29年8月9日（水）～10月5日（木）51日間

会場：イントロホール

(4) 大型映像

1) 上映状況

①平成 29 年 4 月 1 日～6 月 25 日

【通常上映】

「ガラパゴス」(4K 作品、40 分)

「恐竜大研究」(40 分)

【期間限定上映】

「しまじろうとおつきさまのひみつ」(25 分) (4/1～4/2)

「かいけつゾロリ うちゅうの勇者たち」(25 分) (4/29～5/7)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ガラパゴス	500 (400)	200 (160)
恐竜大研究	400 (320)	200 (160)
しまじろうとおつき さまのひみつ	300 (240)	100 (80)
かいけつゾロリ うち ゅうの勇者たち	300 (240)	100 (80)

※()内は 30 人以上の団体料金など

②平成 29 年 9 月 23 日～平成 30 年 3 月 23 日

【通常上映】

「ティラノサウルス」(4K 作品、40 分)

「ミーアキャット」(37 分)

【期間限定上映】

「大恐竜時代」(35 分) (12/23～1/8)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ティラノサウルス	600 (480)	200 (160)
ミーアキャット	500 (400)	200 (160)
大恐竜時代	400 (320)	200 (160)

※()内は 30 人以上の団体料金など

③平成 30 年 3 月 24 日～3 月 31 日

【通常上映】

「ジュラシックヒーローズ」(4K 作品、35 分)

「オーロラを見た恐竜たち」(4K 作品、35 分)

【期間限定上映】

「かいけつゾロリ まもるぜ!きょうりゅうのたまご」(35 分) (3/24～3/31)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ジュラシックヒーローズ	600 (480)	200 (160)
オーロラを見た恐竜たち	500 (400)	200 (160)
かいけつゾロリ まも るぜ!きょうりゅうの たまご	400 (320)	100 (80)

※()内は 30 人以上の団体料金など

2) 関連イベント

①「さかなクン ギョギョッとお魚教室」

日 時：平成 29 年 6 月 3 日 (土)

1回目 13:00～ 2回目 15:00～

定 員：各回 300 人 (全席指定)

4/1～5/14 の期間中に大型映像を
ご覧になった方から抽選。

(応募数 1,143 通 4,113 人)

場 所：特別企画展示室 (大型映像会場)

内 容：世界の珍しい魚たちについて、さ
かなクンがクイズやイラストコー
ナーを組み合わせる詳しく解説する
トークショーを開催した。

参加料：無料 (総合動植物公園入園料が必要)

②「さかなクン ギョギョッとお魚イラスト展」

会 期：平成 29 年 5 月 3 日 (祝・水)～6 月
4 日 (日)

場 所：大型映像前ロビー

内 容：さかなクンが描いた魚のイラスト画
(20 点) を展示。

観覧料：無料

平成 29 年度大型映像観覧者数（上映回数は 1,039 回）

（単位：人）

月	個人			団体			優待券		パス* (無料)	計
	大人	小人	無料	大人	小人	無料	大人	小人		
4	1,620	448	1,300	0	1,120	407	0	0	495	5,390
5	2,256	876	1,399	0	0	1,344	0	0	425	6,300
6	732	194	591	0	0	0	0	0	118	1,635
7										
8										
9	445	127	385	0	0	0	0	0	179	1,136
10	1,005	301	848	80	89	134	0	0	244	2,701
11	1,051	302	1,011	0	0	97	0	0	274	2,735
12	655	199	748	0	0	0	0	0	145	1,747
1	1,429	398	1,334	0	0	0	1	1	170	3,333
2	755	193	720	0	172	6	0	0	112	1,958
3	1,360	558	1,490	0	209	291	0	0	486	4,394
計	11,308	3,596	9,826	80	1,590	2,279	1	1	2,648	31,329

※ ほの国こどもパスポート

(5) 東三河ジオパーク構想事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、これらを保全・保護し、観光資源として生かす「ジオパーク」の認定を目指す活動に取り組んでいる。

平成 29 年度には、新城市に事務局を置く「東三河ジオパーク構想推進準備会」を軸に、東三河 8 市町村と連携して、シンポジウムやジオツアー、ジオガイド養成講座を開催した。また、新たにジオサイト候補地の調査を実施し、ジオガイド認定講座を開始した。博物館独自の取り組みとしては、新たなジオツアーを計画、開催し、推進準備会の一員として、認定に向けた情報収集・発信等に取り組んだ。

1) ジオツアーの開催

新たなジオサイトの開発や新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを平成 29 年度は 4 回開催し、85 人が参加した。

ジオツアー①

「豊川の石はどこから？川原の石調査隊」

講師：加藤千茶子・一田昌宏

期 日：平成 29 年 7 月 1 日（土）

場 所：新城市、設楽町

参加者：22 人

内 容：身近な河川である豊川に集まる石のルーツを探る。



ジオツアー②

「きえゆくジオサイトをめぐる」

講 師：松岡敬二・吉川博章

期 日：平成 29 年 11 月 5 日（日）

場 所：設楽町ほか

参加者：23 人

内 容：豊川水系の河川地形や地質を観察しながら、大地の成り立ちを探る。



ジオツアー③

「太古の海底を歩く」

講 師：松岡敬二・吉川博章

期 日：平成 29 年 12 月 3 日（日）

場 所：東栄町、設楽町

参加者：23 人

内 容：約 1700 万年前の海底に堆積した地層や化石を観察しながら、当時の海について学ぶ。



ジオツアー④

「地質調査入門：弓張山地の岩石マップを作る」

講 師：一田昌宏・加藤千茶子・松岡敬二

期 日：平成 30 年 2 月 18 日（日）

場 所：豊橋市、湖西市

参加者：17 人

内 容：弓張山地がどのような岩石から成り立っているのかを、山を歩いて岩石マップを作りながら学ぶ。

2) ジオパーク認定へ向けた情報収集・発信等

東三河ジオパーク構想推進準備会は、日本ジオパークネットワークの準会員として、全国大会や研修会、中部ブロック大会等への出席や情報発信、ジオパークの認定申請などの継続的な情報収集を行っている。

平成 29 年度には新たに、東三河ジオパーク構想推進準備会委員を中心に、近隣のジオパーク活動を行っている地域に赴き、交流活動を通じた情報収集等を行った。

①ユネスコ世界ジオパーク推薦および新規日本ジオパーク認定プレゼンテーション

期 日：平成 29 年 5 月 21 日（日）

場 所：千葉県千葉市

参加職員：仲井慎治、加藤千茶子

②第 8 回日本ジオパーク男鹿半島大会

期 日：平成 29 年 10 月 25 日（水）、26 日（木）

場 所：秋田県男鹿市

参加職員：加藤千茶子

③先進ジオパーク地域調査

期 日：平成 29 年 11 月 8 日（水）

場 所：長野県伊那市

参加職員：仲井慎治、加藤千茶子

④第4回日本ジオパークネットワーク中部ブ
ロック大会

期 日：平成29年11月18日（日）、19
日（月）

場 所：長野県飯田市

参加職員：吉川博章、加藤千茶子

⑤第9回日本ジオパークネットワーク全国研
修会

期 日：平成30年2月1日（木）～2日
（金）

場 所：神奈川県小田原市、箱根町

参加職員：加藤千茶子

3) 東三河ジオパーク構想推進準備会

第1回東三河ジオパーク構想推進準備会

期 日：平成29年6月28日（水）

場 所：豊橋市役所

参加委員：仲井慎治、加藤千茶子

第2回東三河ジオパーク構想推進準備会

期 日：平成29年11月15日（水）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治、加藤千茶子

第3回東三河ジオパーク構想推進準備会

期 日：平成30年3月23日（水）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治、加藤千茶子

4) ジオ専門部会

第1回ジオ専門部会

期 日：平成29年5月26日（金）

場 所：東三河総局

参加委員：加藤千茶子

第2回ジオ専門部会

期 日：平成29年9月28日（木）

場 所：東三河総局

参加委員：加藤千茶子

第3回ジオ専門部会

期 日：平成29年10月18日（水）

場 所：東三河総局

参加委員：加藤千茶子

第4回ジオ専門部会

期 日：平成30年2月22日（木）

場 所：東三河総局

参加委員：加藤千茶子

(6) ワークショップ・解説会など

地学、生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。平成29年度からこれまでの枠、名称を変更し、ワークショップ、解説会の割合を増やした。

1) 講演会

①「飛ぶことをやめた鳥たち」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：平成29年8月19日（日）

参加者：38人

内 容：ダチョウやペンギンなど飛ぶことをやめた鳥類のヒミツを標本と共に紹介。

2) ワークショップ

①「潮干狩りで生きものを探そう」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）

吉川博章（当館主任学芸員）



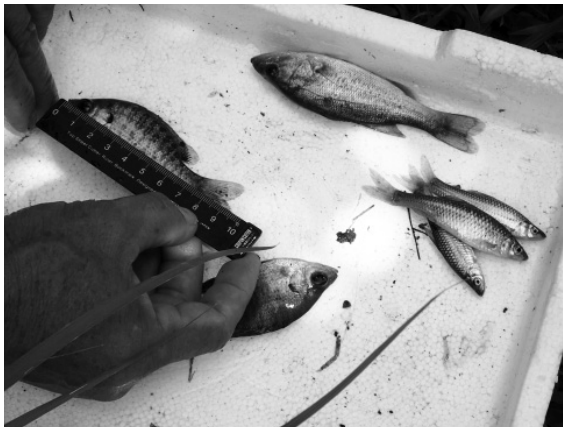
期 日：平成 29 年 5 月 27 日（土）
場 所：豊橋市前芝海岸
参加者：43 人
内 容：干潟で見られる貝類やカニ類を観察し、干潟の生態系を学ぶ。

②「石巻山でカタツムリを観察しよう」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）
一田昌宏（当館学芸員）
期 日：平成 29 年 6 月 3 日（土）
場 所：豊橋市石巻山
参加者：24 人
内 容：世界中で石巻山でしか見られないカタツムリなどを観察。

③「外来魚調査隊」

講 師：坂本博一（当館事務長補佐）
松岡敬二（当館館長）
期 日：平成 29 年 7 月 26 日（水）
場 所：豊橋市向山大池
参加者：27 人
内 容：市内のため池の外来魚の採集調査を通して、その見分け方や生息状況、問題点を解説。



④「小さな鉱物を見てみよう」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）
期 日：平成 29 年 7 月 30 日（日）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：12 人

内 容：化粧品や宝石など身近な鉱物や、石の薄片づくりを通して岩石をミクロの目で観察。

⑤「チリモン探し体験」

講 師：坂本博一（当館事務長補佐）
期 日：平成 29 年 8 月 1 日（火）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：36 人
内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探し出して観察。

⑥「星の砂を電子顕微鏡でみてみよう」

講 師：一田昌宏（当館学芸員）
期 日：平成 29 年 8 月 2 日（水）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：11 人
内 容：「星の砂」とは何か？いろいろな方法で観察。



⑦「岩石をみがいて化石をみつけてみよう」

講 師：一田昌宏（当館学芸員）
期 日：平成 29 年 8 月 4 日（金）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：27 人
内 容：身近な物を使って、岩石の中の化石を探す。

⑧「化石発掘体験」

講 師：吉川博章（当館主任学芸員）
期 日：平成 29 年 8 月 20 日（日）

場 所：自然史博物館学習室
参加者：17人
内 容：岐阜県瑞浪市産の岩石から1500
万年前の化石を取出し、標本を作
製。

⑨「つくってみよう！ゾウの鼻」

講 師：自然史博物館ボランティア
期 日：平成29年8月24日（木）
場 所：自然史博物館講堂
参加者：12人
内 容：自然史博物館ボランティアのオリ
ジナル科学教材「なってみよう！
ゾウの鼻」を製作。

⑩「ティラノサウルスの歯型をつくろう」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
期 日：平成29年8月26日（土）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：9人
内 容：ティラノサウルスやトラなどの歯
型をつくり、恐竜と哺乳類の歯に
ついて学ぶ。



⑪「木の実の化石を見つけよう」

講 師：吉川博章（当館主任学芸員）
期 日：平成29年9月3日（日）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：16人
内 容：豊橋市内の地層から見つかる植物
化石を実際に観察しながら、過去
の環境を探る。

⑫「蚊の口はどうなっている？」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：平成30年1月27日（土）
場 所：自然史博物館学習室
参加者：5人
内 容：蚊はどうやって血を吸うのか、蚊
の口のしくみを電子顕微鏡で観
察。



3) 解説会

学芸員がそれぞれの専門分野について、イ
ントロホールや展示室など博物館内で行う、
申込不要、参加無料の解説会。平成29年度
は8回開催し、336人が参加した。

①「化石にさわろう」

講 師：吉川博章（当館主任学芸員）
期 日：平成29年5月13日（土）
参加者：11人
内 容：館内の化石に実際にふれながら、
太古の生きものについて解説。

②「生きものがつくりだす石」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）
期 日：平成29年7月29日（土）
参加者：25人
内 容：真珠や胆石など、生物がつくりだ
す石について解説。

③「カタツムリのひみつ」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）

期 日：平成 29 年 9 月 9 日（土）
参加者：43 人
内 容：カタツムリの面白い生態や行動を解説。

参加者：30 人
内 容：オオカミや様々なイヌの品種の頭骨を用いて、イヌがたどった歴史を解説。

④「スズメバチの巣を解体してみよう①」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：平成 29 年 9 月 23 日（土・祝）
参加者：76 人
内 容：スズメバチの巣を解体して巣のしくみやスズメバチの生活史を解説。

4) 収蔵庫見学会

収蔵庫に保管されている博物館資料をテーマ別に担当学芸員が案内、各回の定員は 30 人。6 回開催し、138 人が参加した。

⑤「スズメバチの巣を解体してみよう②」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：平成 29 年 10 月 8 日（日）
参加者：120 人
内 容：スズメバチの巣を解体して巣のしくみやスズメバチの生活史を解説。

①「岩石・鉱物標本」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）
期 日：平成 29 年 5 月 20 日（土）
参加者：30 人

⑥「シロアリをあやつろう①」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：平成 29 年 10 月 21 日（土）
参加者：16 人
内 容：ボールペンをつかった実験でシロアリの道しるべフェロモンについて解説。

②「化石標本」

講 師：一田昌宏（当館学芸員）
期 日：平成 29 年 6 月 17 日（土）
参加者：31 人

⑦「シロアリをあやつろう②」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：平成 29 年 10 月 22 日（日）
参加者：15 人
内 容：ボールペンをつかった実験でシロアリの道しるべフェロモンについて解説。

③「貝類標本」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）
期 日：平成 29 年 11 月 11 日（土）
参加者：10 人

⑧「オオカミとイヌ」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
期 日：平成 30 年 1 月 8 日（月・祝）

④「骨格標本」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
期 日：平成 30 年 2 月 17 日（土）
参加者：12 人

⑤「昆虫標本」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
期 日：平成 30 年 3 月 10 日（土）
参加者：25 人

⑥「魚類標本」

講 師：坂本博一（当館事務長補佐）
期 日：平成 30 年 3 月 24 日（土）
参加者：30 人

5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を平成 26 年度から開催している。平成 29 年度は 3 回開催し、149 人が受講した。

①「オーストラリアの荒野によみがえる原始生命」

講師：杉谷健一郎さん（名古屋大学大学院環境学研究科 教授）

期 日：平成 29 年 11 月 12 日（日）

参加者：48 人

内 容：オーストラリアで発見した 30 億年前と 34 億年前の微化石について、生命の初期進化のシナリオにどのようなインパクトを与えるかを紹介。

②「球状コンクリーションの不思議—化石保存のメカニズム—」

講師：吉田英一さん（名古屋大学博物館資料基盤研究系 教授）

期 日：平成 29 年 11 月 19 日（日）

参加者：41 人

内 容：地層中のコンクリーションから保存良好な化石がなぜ出てくるのか？その謎を解説。



③「葉っぱのギザギザはなぜできる」

講師：爲重才覚さん（元・名古屋大学 研究員／現・横浜市立大学 特任助教）

期 日：平成 29 年 12 月 10 日（日）

参加者：60 人

内 容：植物の葉の鋸歯が、植物ホルモンなどの働きによって作られる仕組みを紹介。



(7) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイト ZOO

のんほいパークのナイト ZOO の開催にあわせて、常設展の照明を一部落とし、昼間とは異なる雰囲気を楽しめるようにした。また、特別企画展の観覧料を半額とし、夜の園内でクワガタムシ、カブトムシの観察会を実施した。

開催期間：平成 29 年 8 月 11 日（金・祝）～ 20 日（日）、26 日（土）、27 日（日）
17：00～21：00

平成 29 年 9 月 2 日（土）、3 日（日）、
9 日（土）、10 日（日）、16 日（土）
～ 18 日（月・祝）

18：00～21：00

①特別企画展「武器甲虫」

観覧料：大人 500 円→250 円

小中学生 200 円→100 円

（昼間の観覧料のそれぞれ半額）

観覧者：2,804 人（～ 9/3 まで）

②夜の“のんほいパーク”クワガタ、カブト
観察会①

期 日：平成 29 年 8 月 11 日（金・祝）
講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
参加者：21 人（定員 20 人）

③夜の“のんほいパーク”クワガタ、カブト
観察会②

期 日：平成 29 年 8 月 12 日（土）
講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
参加者：21 人（定員 20 人）

④夜の“のんほいパーク”クワガタ、カブト
観察会③

期 日：平成 29 年 8 月 13 日（日）
講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）
参加者：25 人（定員 20 人）



2) ナイトミュージアム de 宝さがし

のんほいパークのナイトドリームの開催にあわせて、ランタンの灯りとキーワードをたよりに暗黒の自然史博物館を探検して 10 個の宝石を集めるイベント「ナイトミュージアム de 宝さがし」を開催した。

参加費：500 円

定 員：15 組（1 組 5 人まで）

期日	参加人数(人)
11/18	53
3/24	51
3/25	56
3/31	58
計	218

(8) 第 13 回自然史博物館自由研究展

生物や地学をテーマにした市内の小・中学生の優れた自由研究作品を表彰・展示するため、平成 17 年度より開催している。出品作品については、各小・中学校の協力のもと、児童・生徒が夏休みの課題として提出したのから選考した。表彰式にあわせて最優秀賞の受賞者による発表会を開催した。

開催期間：平成 29 年 10 月 14 日（土）～ 11 月 12 日（日）

表彰式・優秀作品発表会：平成 29 年 10 月 14 日（土）13：00

会 場：イントロホール、自然史スクエア
他

応募総数：213 点（小学校 52 校 150 点、中学校 20 校 63 点）

※市内小中学校各校から 3 点以内を選抜して応募。ただし小学校 24 クラス以上、中学校 18 クラス以上の場合には 4 作品以内とした。

<入賞作品>

○最優秀賞

【中学生】

青陵中学校 1 年 杉本 翼

「ゲンジボタルの見られる所見いつけた パート 4」

東陽中学校 2 年 贄 充希

「ハンミョウの研究 4（2016～2017 年）」

○優秀賞

【小学生】

植田小学校 6 年 石田小都

「梅田川6」

松葉小学校 4 年 浦野倫生

「豆苗の大実験」

松葉小学校 5 年 中野千乃

「メダカのふ化と水温の関係～570 この卵の観察から～」

二川南小学校 4年 石川春果
「茎から根はどうやって生えるの? 植物の
発根の観察実験PART2」

○奨励賞

【小学生】

下地小学校 6年 山原寛大
「ゴマダラカミキリの新発見パート3+新し
い仲間も新登場」

向山小学校 6年 石川琳子
「カメの見ている世界」

植田小学校 4年 石田奈都
「土もいろいろ」

芦原小学校 4年 中村光里
「4年目のアサガオ研究観察 人工交配で新
しいアサガオは咲くのか」

二川小学校 6年 菅沼大悟
「メダカの卵の観察パートⅡ～ふか率UP作
戦～」

多米小学校 6年 佐藤麗桜
「孵化したウズラが成長し、その産んだ卵は
孵化する?しない?」

【中学生】

東陽中学校 1年 岩田くるみ
「雑草なんて言わせない!! 本当はすごい!
タンポポ」

本郷中学校 3年 中村賢太郎
「4年目のアサガオ研究観察 人工交配で新
しいアサガオは咲くのか」

○入選

【小学生】

二川南小学校 6年 白井紀帆
「落花生は土の中でどう成長するの?～ラッ
カセイはなぜ落花生と書くの?Part 2～」

羽根井小学校 6年 田中さや
「ツマグロヒョウモンを1年追いかけて」

花田小学校 4年 市川ひとみ
「ありの研究パート3」

多米小学校 4年 伊奈もも香
「セミの抜けガラ・鳴き声調査「アブラゼミ
よりクマゼミの方が多くなっている」とい
う話は本当なのか?」

石巻小学校 3年 小林優花
「何によって花はさくの?」

芦原小学校 5年 加藤杏菜
「加藤家、庭の雑草全滅大作戦2017夏」

汐田小学校 6年 深谷真叶
「野菜の種の成長比かく」

中野小学校 4年 内藤悠斗
「根っこの生え方大研究 パート2」

中野小学校 4年 大竹真菜
「蚊の研究」

【中学生】

南部中学校 1年 近藤美優
「雑草たちの好きな場所 パート4 ～道ば
たと公園の雑草も調べてみよう～」

前芝中学校 2年 北河紗衣
「前芝海岸とその周辺の生き物 Part. 4」

五並中学校 2年 杉浦未奈
「終わりなき砂の旅～砂の秘密～」

高師台中学校 1年 間瀬優芽
「スイカの秘密Part 2 (種version)」



(9) 自由研究相談

開催期間：夏休み期間

内 容：事前申込みを受けた小・中学生を対象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導。

参加者：23件 51人
(内訳)

分野	件数	人数
化石	2	6
岩石	6	12
昆虫	6	10
貝類	4	12
脊椎動物	2	4
その他	3	7
計	23	51

(10) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、手紙、メールによる市民からの質問等について学芸員が対応している。平成29年度の内訳は以下のとおりである。

分野	件数	備考
化石	15	
地質岩石	11	
昆虫	3	
貝類	6	
魚類	0	
脊椎動物	3	
植物	4	
その他	5	ナメクジウオ2、ザリガニ、ホウネンエビ、海生無脊椎動物
計	47	

(11) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

自然史博物館では、平成16年度より「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行っている。内容は、以下の5つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする1クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも積極的に利用している。本年度の館外貸出は7団体568人、館内利用は8団体556人であった。

化石：古生代から新生代の化石（10セット）、化石レプリカ製作用型4種（20セット）

脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本3種（10セット）、ネコ全身骨格標本（1セット）

ドングリ：ブナ科植物6種のさく葉および堅果標本

昆虫：昆虫標本3種（5セット）、国語の教科書に登場する昆虫2種類（各1セット）

岩石：東三河地域の堆積岩10種（10セット）、豊川流域の岩石10種（5セット）

標本貸出セット実績① 館外貸出

期日	利用者	内容	人数
7/3～7/7	天伯小学校	昆虫標本（3種）	50
10/1～10/7	高豊中学校	昆虫標本（3種、クジャクヤママユ）	130
10/9～10/13	羽田中学校	脊椎動物（頭骨標本3種、ネコ全身骨格）	168
11/14～11/21	岩田小学校	化石標本（古生代から新生代の化石）	140
12/6～12/12	飯村小学校	化石（レプリカ製作用型）	20
1/21～1/27	豊小学校	化石（古生代から新生代の化石、レプリカ製作用型）	19
3/16～3/22	五並中学校	化石（古生代から新生代の化石、レプリカ製作用型）	41

標本貸出セット実績② 館内利用（出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものも含む）

期日	利用者	内容	人数
5/19	賀茂小学校	化石標本（古生代から新生代の化石）	28
9/15	五並中学校	脊椎動物（頭骨標本ネコ、ウサギ）	37
9/28	田原市立東部小学校	植物標本（ドングリ）	49
9/28	岡崎市立城北中学校	脊椎動物（頭骨標本ネコ、ウサギ）	199
10/12	野依小学校	脊椎動物（頭骨標本ネコ、ウサギ）	75
10/13	田原市立大草小学校	植物標本（ドングリ）	25
10/19	高根小学校	脊椎動物（頭骨標本ネコ、ウサギ）	39
11/24	つつじが丘小学校	化石標本（古生代から新生代の化石）	104

2) 職場体験学習等

中学校2年生を対象に行われる職業体験学習として16校から16人を受入れた。博物館の業務概要の説明、施設等を見学した後、各学芸員が博物館資料の整理、展示作業、教育普及活動、印刷物の発送などの作業を体験させている。

また、特別企画展会期中のボランティア体験、実習活動として桜丘学園（中・高）生物部40人、愛知県立豊丘高校自然科学愛好会6人を受入れた。

期間	学校名	人数
5/17～5/19	豊川南部中学校	1
5/24～5/26	豊川西部中学校	1
5/30～6/2	豊橋市立豊城中学校	1
5/30～6/2	豊橋市立二川中学校	1
5/30～6/2	豊橋市立東部中学校	1
10/17～10/20	豊橋市立高師台中学校	1
10/17～10/20	豊橋市中部中学校	1
10/31～11/2	豊橋市立南部中学校	1
11/8～11/10	豊川市立小坂井中学校	1
11/8～11/10	豊橋市立本郷中学校	1
11/8～11/10	豊橋市立青陵中学校	1
11/14～11/16	豊橋市立東陽中学校	1
11/14～11/16	豊橋市立東陵中学校	1
12/5～12/8	豊橋市立吉田中学校	1
12/5～12/8	豊橋市立牟呂中学校	1
1/30～1/31	蒲郡市立形原中学校	1
7/14～9/3	桜丘学園（中・高） 生物部	40
7/14～9/3	愛知県立豊丘高校自 然科学愛好会	10

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習（小学校4年生対象）の一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画をたて、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像、特別企画展の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。

- ・参加校数：2校
- ・参加児童数：110人

4) 高等学校・大学の学習利用

①愛知教育大学「理科授業研究Ⅱ」
期 日：平成29年6月24日（土）
利用者：学生・教員10人
内 容：講義、展示解説、博物館見学

②愛知教育大学「古生物学」
期 日：平成29年7月9日（日）
利用者：学生19人
内 容：講義、展示解説、博物館見学
引率者：教授 河村善也

③愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部
期 日：平成29年8月3日（木）
利用者：生徒・教員・役員40人
内 容：講義、博物館見学

④愛知教育大学「理科研究」
期 日：平成29年11月4日（土）
平成29年11月25日（土）
平成29年11月26日（日）
平成30年1月14日（日）
利用者：学生185人
内 容：講義、展示解説、博物館見学
引率者：教授 河村善也

⑤名古屋市立向陽高等学校及び名古屋市立高等学校スーパーサイエンスハイスクール連

携講座

期 日：平成 29 年 7 月 28 日（金）

利用者：生徒・教員 13 人

内 容：脊椎動物の骨格に関する講義、特別企画展「武器甲虫」見学、博物館常設展等見学

⑥愛知県立碧南高等学校

期 日：平成 29 年 8 月 9 日（水）

利用者：生徒・教員 29 人

内 容：「生物の起源と進化」の学習

5) 校外学習等

社会見学・理科学習等の校外学習を受入れ、各校の依頼に応じて講義や実習を行った。

①中学生英語体験活動「I LOVE TOYO-HASHI!」English Camp

期 日：平成 29 年 7 月 25 日（火）

平成 29 年 8 月 22 日（火）

内 容：常設展、特別企画展の見学

参加者：114 人

②豊橋市立二川中学校

地域文化体験講座

期 日：平成 29 年 9 月 16 日（土）

内 容：微化石実習、博物館見学

参加者：18 人

③西尾市立東部中学校 1 年生総合的な学習「ワーキングスタディー」

期 日：平成 30 年 2 月 2 日（金）

内 容：博物館見学、学芸員の仕事について学ぶ

参加者：34 人（引率教員 2 人）

6) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」

の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されている。配架図書の選定、利用促進、運営については図書館研究部、理科研究部、学校図書館指導員、当館事務長らによる推進委員会で協議した。

(12) 博物館実習生等の受入れ

1) 平成 29 年度博物館実習

①実習生（10 人）

中野小夜里さん（京都橘大学）

福井友介さん（愛知大学）

濱野 蘭さん（愛知大学）

清水悠花さん（宮崎大学）

杉浦雅幸さん（名城大学）

稲垣 瞳さん（名古屋芸術大学）

上野稜太さん（岐阜聖徳学園大学）

河村眞美さん（北海道大学）

石田 聖さん（和光大学）

高塩 茅さん（名古屋学芸大学）

②実習内容・日程

期日	内容
7/28	自然史博物館概要、管理・運営、館内見学、特別企画展見学
7/29	特別企画展、ボランティアガイドツアー補助、解説会（岩石・鉱物）補助・片づけ
7/30	特別企画展、ボランティアガイドツアー補助、ワークショップ（岩石・鉱物）準備・補助・片づけ
8/1	ワークショップ（魚類）準備・補助・片づけ
8/2	貝類資料実習、ワークショップ（化石）準備・補助・片づけ
8/3	脊椎動物資料実習、貝類資料実習
8/4	ワークショップ（化石）準備・補助・片づけ、化石資料実習、実習まとめ

2) 大学の博物館学関連実習等

①名城大学農学部

期 日：平成 29 年 8 月 8 日（火）

内 容：博物館見学実習

参加者：20 人

②東海大学海洋学部

期 日：平成 29 年 10 月 31 日（火）

内 容：博物館見学研修

参加者：21 人

③岐阜聖徳学園大学教育学部

期 日：平成 30 年 3 月 6 日（火）

内 容：博物館見学研修

参加者：31 人

(13) 研修生等の受入れ

1) 現職教員の研修等

①氏 名：稲垣 卓さん

所 属：愛知県立豊丘高等学校

期 日：平成 29 年 8 月 3 日（木）、8 月 26
日（土）

内 容：高等学校初任者研修

②氏 名：菊池亮太さん

所 属：豊橋市立牟呂中学校

期 日：平成 29 年 8 月 22 日（火）、8 月 23
日（水）

内 容：中堅（11 年目）教員研修

③氏 名：平野将稔さん

所 属：豊橋市立栄小学校

期 日：平成 29 年 8 月 29 日（火）、8 月 30
日（水）

内 容：中堅（11 年目）教員研修

2) インターンシップ

①氏 名：小林稜典さん

所 属：愛知大学文学部 3 年

期 間：平成 29 年 8 月 2 日（水）～ 4 日（金）

②氏 名：花田明莉さん

所 属：豊橋創造大学短期大学部 1 年

期 間：平成 29 年 8 月 4 日（金）～ 14 日
（月）

③氏 名：増田菜那さん

所 属：愛知大学文学部 3 年

期 間：平成 29 年 8 月 4 日（金）～ 14 日
（月）

④氏 名：中島奈保さん

所 属：名古屋大学大学院情報研究科 1 年

期 間：平成 29 年 8 月 14 日（月）～ 24 日
（木）

⑤氏 名：寺西宏貴さん

所 属：豊橋創造大学経営学部 2 年

期 間：平成 29 年 8 月 14 日（月）～ 24 日
（木）

⑥氏 名：河合菜摘さん

所 属：愛知学院大学経済学部 2 年

期 間：平成 29 年 8 月 24 日（木）～ 9 月
3 日（日）

⑦氏 名：兵藤碧海さん

所 属：桜丘高等学校 2 年

期 間：平成 29 年 8 月 29 日（火）～ 31 日
（木）

⑧氏 名：寺田若菜さん

所 属：愛知教育大学教育学部 2 年

期 間：平成 29 年 9 月 3 日（日）～ 14 日
（木）

⑨氏 名：岡本健太さん

所 属：豊橋創造大学経営学部

期 間：平成 29 年 9 月 3 日（日）～ 14 日
（木）

3) 教員研修等

- ①東三河教育事務所管内小中学校校長会議
期 日：平成 29 年 4 月 12 日（水）
参加者：190 人

- ②田原市教職員会第 3 回理科部会
期 日：平成 29 年 8 月 23 日（水）
参加者：18 人

- ③豊橋市小中学校 5 ブロック夏季現職研修会
期 日：平成 29 年 8 月 24 日（木）
参加者：20 人

- ④瀬戸市理科教育研究会博物館研修
期 日：平成 29 年 12 月 28 日（木）
参加者：5 人

- ⑤小学校生活科研究部研究大会
期 日：平成 29 年 12 月 20 日（水）
参加者：74 人

4) その他

- ①愛知教育大学教職大学院「多様なフィールド
下実習」
期 日：石井美妃さん・中山俊作さん
期 間：平成 29 年 8 月 2 日（水）～8 月 6
日（日）
内 容：社会教育施設における教育活動

(14) 出版活動

平成 29 年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第 29 号	A4 65 頁	500	29. 6. 30	関係機関	年間活動報告
第 32 回特別企画展 展示解説書 「クワガタムシ、カブトムシ学の 最新研究」	A4 56 頁	700	29. 7. 14	関係機関・一般 (600 円)	特別企画展の解 説書
豊橋市自然史博物館研究報告 第 28 号 (ISSN 0917-1703)	A4 60 頁	600	30. 3. 24	関係機関	研究報告・論文

(15) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携協定事業

平成 26 年度に名古屋芸術大学と締結した連携協定に基づき、平成 29 年度は下記の連携事業を行った。

①音楽学部学生によるミュージアムコンサート

期 日：平成 30 年 2 月 18 日（日）

会 場：自然史スクエア

内 容：4 人の奏者によるサクソ、パーカッション、ピアノの演奏会

参加者：300 人



②特別企画展 PR 用模型製作・展示

期 日：平成 29 年 7 月 19 日（水）～ 8 月 31 日（木）

会 場：豊橋駅東西連絡通路

内 容：加藤真浩さん、柴田康平さん、鈴木健士朗さん、塚本将慈さん制作のコーカサスオオカブトムシのオブジェを展示。



③博物館職員による講義・講演

期 日：平成 29 年 7 月 25 日（火）

場 所：名古屋芸術大学

講 師：安井謙介

内 容：自然科学系教養科目での講義

2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

主催：国立大学法人名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

※東海地方の大学、研究機関、博物館 27 機関が参加（2018 年 1 月現在）

- ・夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 期間中（平成 29 年 7 月 21 日～ 8 月 31 日）の自然史博物館行事に参加イベントとして登録
- ・あいちサイエンスフェスティバル 2017 期間中（平成 29 年 9 月 30 日～ 11 月 19 日）の自然史博物館行事に参加イベントとして登録
- ・「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催（科学教育センターと共同開催）

3) 企画展「戌ーイヌにちなむー」

協力：浜松市博物館

会場及び展示期間：

- ・豊橋市自然史博物館
平成 29 年 12 月 16 日（土）～平成 30 年 1 月 14 日（日）
- ・浜松市・市民ミュージアム浜北
平成 30 年 2 月 8 日（木）～ 3 月 4 日（日）
- ・浜松市博物館
平成 30 年 3 月 17 日（土）～ 5 月 6 日（日）

4) 二川地区連携事業

「謎解き フタガワ CODE」

二川地区にある5つの博物館等施設において昨年まではスタンプラリーを実施していたが、今年は内容を改め「謎解き フタガワ CODE」を実施した。

開催期間：平成30年1月2日(火)～2月28日(水) 50日間

内 容：チラシの裏面にある5つの謎を解いて導き出された場所に行き、設置されたQRコードから新たな謎を解く。正解すると、ふだんは体験できない「選べるプレミアムイベント」や招待券のプレゼントに応募できる。

参加者数(チラシ配布数、pdfファイルダウンロード数を含む)：1,274人

プレゼント応募数

(プレミアムイベント当選数は各施設2組)

プレゼント	応募数
自然史博物館大型映像招待券(総合動植物公園入園券付)5組10人	21
二川宿本陣資料館招待券5組10人	1
総合動植物公園 「動物の素顔にふれる特別ガイド」	27
自然史博物館 「化石プレゼント付博物館特別ガイド」	9
二川宿本陣資料館 「本陣上段の間に座って記念撮影」	15
商家「駒屋」 「駒屋グッズプレゼント付特別ガイド」	7
視聴覚教育センター・地下資源館 「生まれた日の星空を特別投映」	11
計	91

アンケート集計結果(回収数244)

項目	人数	構成比%	
住所	市内	47	49.5
	県内	38	40.0
	県外	10	10.5
	計	95	100
性別	男	43	45.3
	女	52	54.7
	計	95	100
年齢	～9	12	12.6
	10代	16	16.8
	20代	6	6.3
	30代	7	7.4
	40代	34	35.8
	50代	7	7.4
	60代	8	8.4
	70代～	5	5.3
	計	95	100

5) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主 催：愛知県環境学習施設等連絡協議会
開催期間：平成29年6月22日(木)～平成30年2月28日(水)

内 容：来館者がスタンプを押すスタンプラリーを実施。

(16) 講師・委員の派遣等

1) 出前授業

原則として市内の小・中学生を対象に、学校からの要請を受け、学芸員を派遣し授業を行っている。平成 29 年度はのべ 27 校で 63 時限実施し、1,966 人が受講した。

平成 29 年度出前授業の実施状況（時間延長した授業も 1 時限として集計）

No.	学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当学芸員
1	賀茂小学校	4～6	28	大地のしましまをさぐる	2	5/19	吉川
2	石巻中学校	1	30	古くて小さい重要な化石	2	5/25	一田
3	桜丘中学校	1	73	昆虫のからだのつくり 昆虫の観察	2	6/1	長谷川
4	桜丘中学校	1	73	絶滅の恐れがある愛知県の動物	2	6/15	長谷川
5	野依小学校	6	104	ヒトの体のつくりとはたらき	3	6/15	安井
6	高豊中学校	1	130	表浜の自然の魅力「絶滅危惧種ヤマトマダラバツタ」を中心に	2	6/23	長谷川
7	つつじが丘小学校	6	103	外来魚	3	7/19	坂本
8	岐阜県立多治見北高等学校	1～2	30	地球史・生命史・生物多様性	5	8/10	西
9	大村小学校	1	42	おさかな入門！	2	8/24	坂本
10	幸小学校	4	166	清水池の今と昔・外来生物	2	9/13	坂本・西
11	五並中学校	2	37	ヒトの体のつくりとはたらき	1	9/15	安井
12	田原市立大草小学校	1	9	身近な昆虫の観察	2	9/20	長谷川
13	野依小学校	1	66	身近な昆虫の観察	2	9/22	長谷川
14	岩田小学校	3	142	昆虫のからだのつくり・動物のすみかをしらべよう	4	9/26	長谷川
15	田原市立東部小学校	1	49	どんぐりについて	1	9/28	長谷川
16	岡崎市立城北中学校	2	199	動物のからだのつくりとはたらき	5	9/28	安井
17	高根中学校	4	39	身近な昆虫の観察	1	9/29	長谷川
18	杉山小学校	1～2	100	どんぐりのなる木	1	10/5	長谷川
19	野依小学校	4	75	動物のからだのつくりとはたらき	2	10/12	安井
20	大村小学校	1	42	秋の虫を飼おう	2	10/12	長谷川
21	田原市立大草小学校	1～2	25	どんぐりはかせにきいてみよう	1	10/13	長谷川
22	高根小学校	4	39	ヒトの体のつくりとはたらき・動物のからだのつくりとはたらき	2	10/19	安井
23	二川小学校	1	85	ザリガニはかせのおはなしをきこう	2	11/2	坂本
24	つつじが丘小学校	6	104	化石の話、大地のしましまをさぐる	3	11/24	吉川
25	野依小学校	6	104	大地のしましまをさぐる	3	11/30	吉川
26	前芝中学校	2	36	イカの体のしくみを探ろう	2	12/5	西
27	石巻小学校	4	36	石巻調査団～石巻山マップをつくらう～	4	1/19	西

2) 講義・講演

① 2017 年理科実験お楽しみ広場

講 師：松岡敬二

期 日：平成 29 年 4 月 30 日（日）

会 場：愛知淑徳中学校

内 容：化石が語る太古の地球環境

参加者：40 人

② 豊川市南部中学「スタディ・ザ・ライフ」

講 師：長谷川道明

期 日：平成 29 年 5 月 20 日（土）

会 場：豊川市立南部中学校

内 容：自然史博物館の仕事

参加者：34 人

③ 豊橋市立西郷小学校

講 師：西 浩孝

期 日：平成 29 年 6 月 6 日（火）

会 場：西川芸能練習場、安川流域

内 容：ホテル観察会、講演会

参加者：96 人

④ CAEA 渥美半島環境活動協議会

講 師：松岡敬二

期 日：平成 29 年 6 月 25 日（日）

会 場：田原福祉センター

内 容：対談・守っていききたい渥美半島の環境について

参加者：45 人

⑤ 知っトク！豊橋「地域学 高師台探訪！！」

講 師：松岡敬二

期 日：平成 29 年 7 月 15 日（土）

会 場：高師台地区市民館

内 容：地層の露頭と高師小僧

参加者：15 人

⑥ 新城市教育研修会 理科部会

講 師：加藤千茶子、吉川博章

期 日：平成 29 年 8 月 8 日（火）

会 場：新城市ちさと館

内 容：「夏休みおもしろ実験・観察教室 in しんしろ」でのブース提供

参加者：荒天のため不参加

⑦ 島根大学

講 師：松岡敬二

期 日：平成 29 年 8 月 18 日（金）～20 日（日）

会 場：島根大学

内 容：博物館概論 B

⑧ 知っトク！豊橋「自然史博物館のひみつを探ろう①」

講 師：安井謙介

期 日：平成 29 年 8 月 19 日（土）

会 場：豊橋市自然史博物館

内 容：自然史博物館の講演を聞いてみよう「飛ぶことをやめた鳥たち」

参加者：20 人

⑨ 嵩山校区自治会

講 師：松岡敬二

期 日：平成 29 年 9 月 4 日（月）

会 場：嵩山校区市民館

内 容：豊橋カルタを使ったカルタ大会

参加者：30 人

⑩ 知っトク！豊橋「自然史博物館のひみつを探ろう②」

講 師：長谷川道明

期 日：平成 29 年 9 月 16 日（土）

会 場：二川地区市民館

内 容：シロアリの行動を観察しよう

参加者：20 人

⑪ 豊橋市立章南中学校文化祭ふれあい講座

講 師：一田昌宏

期 日：平成 29 年 10 月 13 日（金）

会 場：豊橋市立章南中学校

内 容：環境変動史の解説と化石の切断、研磨

参加者：30 人

⑫知っトク！豊橋「自然史博物館のひみつを探ろう③」

講師：松岡敬二

期日：平成29年10月21日（土）

会場：豊橋市自然史博物館

内容：説明を受けながら見学してみよう

参加者：20人

⑬名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

講師：長谷川道明

期日：平成29年10月29日（日）

会場：松坂屋名古屋店

内容：あいちサイエンスフェスティバル

「シロアリのフェロモン実験」

参加者：台風接近のため中止

⑭東三河自然観察会

講師：安井謙介

期日：平成29年11月11日（土）

会場：豊橋市自然史博物館

内容：館内、バックヤードの見学

参加者：30人

⑮八町文化協会

講師：安井謙介

期日：平成29年11月15日（水）

会場：豊城地区市民館

内容：鳥のからだのしくみ

参加者：40人

⑯日本ペドロロジー学会野外巡検

講師：加藤千茶子

期日：平成30年3月4日（日）

会場：新城市

内容：野外巡検の講師

参加者：43人

3) 委員等の委嘱、派遣

①科学教育推進委員会

委員：安井謙介

期日：平成29年5月17日（水）

平成29年6月16日（金）

②授業・学習支援センター推進委員会

委員：仲井慎治

期日：平成29年5月31日（水）

平成29年6月21日（水）

平成29年9月19日（火）

平成30年1月16日（火）

③あいちサイエンスフェスティバル2016

実行委員会

委員：長谷川道明・丹羽美春

期日：平成29年6月9日（金）

平成30年2月28日（水）

④田原市イノシシ対策運営会議

委員：安井謙介

期日：平成30年2月19日（月）

⑤埼玉県立自然の博物館平成29年度石灰岩

地基礎調査

協力：一田昌宏

期日：平成30年3月6日（火）～8日（木）

4) 「なごや生物多様性センターまつり」への出展

期日：平成29年10月28日（土）

場所：なごや生物多様性センター

内容：三河湾の干潟の生物多様性、希少種、外来種の紹介と、豊橋市自然史博物館の活動について、テントブースで紹介した。

参加者：坂本博一・西 浩孝

3. 調査研究活動

(1) 学芸員の研究業績等

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

松岡敬二 (館長：動物化石)

調査研究の主なテーマ：

- ・東アジアの生物相の発達史
- ・博物館学の研究史

29 年度テーマ：

- ・日本の非海生生物化石
- ・博物館展示物展示方法

1) 論文

- ① Matsuoka, K. and Miura, O., 2018. Five new species of the genus *Semisulcospira* (Mollusca: Caenogastropoda: Semisulcospiridae) from the Pleistocene Katata Formation of the Kobiwako Group, Shiga Prefecture, central Japan. *Bull. Mizunami Fossil Museum*, (44): 59-67.
- ② 坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2018. 豊橋市の反茂池と上ノ池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (28): 47-53.

2) 学会等発表

- ① 松岡敬二, 2017. 大会委員長趣旨説明. 日本展示学会第 36 回名古屋大会. 2017 年 6 月 17 日～18 日, 名古屋大学 (名古屋市).
- ② 松岡敬二, 2017. 趣旨説明「地域資料の展示と今後のゆくえ～奥三河郷土館リニューアルをめぐる」とディスカッション. 平成 29 年度日本展示学会中部地区地域研究会・日本ミュージアム・マネジメント学会中部支部, 2017 年 12 月 2 日, 奥三河総合センター (設楽町).
- ③ 松岡敬二, 2018. 古琵琶湖層群を中心としたカワニナ・タニシ類の鮮新-更新世の変遷. 第 65 回日本生態学会大会, 2018 年 3 月 15 日, 札幌コンベンションセンター (札幌市).

3) 普及書など

- ① 松岡敬二, 2017. 【雑感】出来た『六条潟生きものカルタ』について. みなと塾, (76): 90.
- ② 松岡敬二, 2017. 名古屋地学会第 316 回例会報告. 名古屋地学, (79): 33-34.
- ③ 松岡敬二, 2017. 郷土カルタの中の水害記録. 郷土かるた (日本郷土かるた協会) 会誌, (15): 3.
- ④ 松岡敬二, 2017. 多摩丘陵で見つかった更新世淡水生二枚貝-ドブガイの化石-. 多摩のあゆみ, (79): 48-59.
- ⑤ 松岡敬二, 2018. 雪にまつわる郷土カルタ. 郷土かるた (日本郷土かるた協会) 会誌, (16): 2.
- ⑥ 松岡敬二, 2018. 貝類化石・コケムシ化石. 大山層足跡化石発掘調査報告書 (日田市立博物館), 54-56.

坂本博一 (事務長補佐：魚類)

調査研究の主なテーマ：

- ・三河地方の魚類相

29 年度テーマ：

- ・豊橋市内の外来魚
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・資料集「魚類 I」
- ・愛知県近海で水揚げされたサメ類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

- ① 坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2018. 豊橋市の反茂池と上ノ池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (28): 47-53.

2) 学会等発表

なし

3) 普及書など

なし

長谷川道明（学芸専門員：昆虫）

調査研究の主テーマ：

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相

29年度テーマ：

- ・日本と台湾の *Ostedes* 属の分類学的再検討
- ・インドシナの *Graphidessa* 属について
- ・近畿～東海地方のビャクシンカミキリの分布と変異
- ・東海地方のレッドデータ種に関する研究

1) 論文

- ① Hasegawa, M., 2017. A New Species Related to *Saperda interrupta* (Coleoptera, Cerambycidae, Lamiinae) from Northeast Asia. *Elytra, New series*, 7(1): 187-194.
- ② Hasegawa, M., 2017. Taxonomic Study on the Genus *Ostedes* (Coleoptera, Cerambycidae, Lamiinae, Acanthocinini) from Japan and Taiwan. *Special Bulletin of the Coleopterological Society of Japan*, (1): 247-265.
- ③ 戸田尚希・長谷川道明・蟹江 昇, 2017. 愛知県の甲虫目録 1 (セスジムシ科). 佳香蝶, 69 (270): 23-24.
- ④ 戸田尚希・長谷川道明・蟹江 昇, 2018. 愛知県の甲虫目録 2 (ナガヒラタムシ科, オサムシ科: ヒゲブトオサムシ亜科, カワラゴミムシ亜科). 佳香蝶, 70 (273): 1-3.
- ⑤ 船越進太郎・榎 信好・鈴木啓久・細江 守・豊島健太郎・高井 泰・長谷川道明・緋田祐太, 2017. 2016年8月上旬における乗鞍岳の鱗翅目昆虫と個体数調査. やどりが, (253): 14-21.
- ⑥ 長谷川道明, 2018. 甲虫コレクションガイド 10 豊橋市自然史博物館の甲虫コレクション. SAYABANE, N. S., (29): 23-25.

2) 学会発表

- ① 長谷川道明, 2017. 日本と台湾の *Ostedes*

属のカミキリムシについて. 日本甲虫学会 2017年第2回名古屋例会, 2017年8月27日, 三重県環境学習情報センター (四日市市).

3) 普及書など

なし

加藤千茶子（主任学芸員：鉱物・岩石）

調査研究の主テーマ：

- ・郷土の鉱物岩石相

29年度テーマ：

- ・高師小僧の成因環境について
- ・東三河地域のジオパーク構想について
- ・高校と連携したジオパーク教育プログラムの開発
- ・豊川流域の岩石分布について

1) 論文

なし

2) 学会発表

- ① 加藤千茶子, 2018. 新城市の土壌の成因となる岩石. 日本ペトロロジー学会 2018年度大会愛知県支部エクスカッション, 2018年3月4日, 新城市.

3) 普及書など

なし

安井謙介（主任学芸員：脊椎動物）

調査研究の主テーマ：

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・豊橋市を中心とした東海地方の現生脊椎動物相
- ・展示・教育普及活動のオリジナルプログラム開発

29年度テーマ：

- ・放射性炭素年代測定法を用いた“ブスクゾウ”の分類学的研究
- ・愛媛県沖海底産脊椎動物化石について

- ・伊川津貝塚産出の犬骨について
- ・ミズナギドリ類の比較骨学的研究
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・東三河の陸生脊椎動物の生息状況について
- ・名古屋芸術大学との連携プログラム開発に関する調査・研究

1) 論文

- ① Takahashi, K. and Yasui, K., 2017. Taxonomic invalidity of Busk's elephant (*Elephas maximus buski* Matsumoto, 1927) demonstrated by AMS ¹⁴C dating. *Paleontological Research*, 21 (2): 195-202.
- ② 東條文治・安井謙介, 2017. 示準化石教材に使用するゴニアタイト化石の分類群について. 名古屋芸術大学研究紀要, 38 : 195-200.
- ③ 茂原信生・安井謙介, 2017. 保美貝塚 (田原市) から出土したイヌ. 田原市埋蔵文化財調査報告書第11集 保美貝塚 渥美半島における縄文時代晩期の犬塚, 田原市教育委員会, 232-236, 図版 46.
- ④ 村上雅啓・楠橋 直・安井謙介, 2018. ブダイ科魚類数種の咽頭歯の萌出洋式. 豊橋市自然史博物館研究報告, (28) : 27-36.
- ⑤ 楠橋 直・村上雅啓・安井謙介, 2018. アオブダイの右腹鰭欠損個体に見られた腰帯の変形. 豊橋市自然史博物館研究報告, (28) : 37-45.

2) 学会等発表

- ① 安井謙介, 2018. 飛ぶことをやめた鳥たち - 無飛翔性鳥類の進化と繁栄 -. 口頭発表. 東三河野鳥同好会総会. 2018年1月8日, 豊橋市民文化会館.

3) 普及書など

- ① 安井謙介, 2017. 「ヨソの館」から「オラの館」へ. 全科協ニュース, 47 (4) : 5-6.
- ② 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわ

い無い話 (29)「思い出の品を活かす」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (505) : 5.

- ③ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (30)「禍転じて…」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (506) : 5.
- ④ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (31)「大物2点」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (507) : 5.
- ⑤ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (32)「骨の声を聞く」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (508) : 5.
- ⑥ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (33)「首を長くして待ったタンチョウ来たる」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (509) : 5.
- ⑦ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (34)「ラジオで精進」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (510) : 5.
- ⑧ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (35)「マッコウクジラを掘り出す」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (511) : 5.
- ⑨ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (36)「収蔵資料の活用」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (512) : 5.
- ⑩ 安井謙介, 2017. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (37)「浦島太郎状態」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (513) : 5.
- ⑪ 安井謙介, 2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (38)「「バツタ」と「菌」」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (514) : 5.
- ⑫ 安井謙介, 2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (39)「プロの技」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (515) : 5.
- ⑬ 安井謙介, 2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (40)「精進不足」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), (516) : 5.

吉川博章（学芸員：植物化石）

調査研究の主テーマ：

- ・新生代植物化石と堆積相解析による環境復元
- ・植物化石のタフオノミー的研究
- ・東海地方の植物化石

29年度テーマ：

- ・常滑市の鮮新統大谷火山灰層中の埋没木化石
- ・豊田市西広瀬町から産出した中新世植物化石
- ・豊橋市大岩町の更新統産植物化石
- ・辻富夫氏寄贈の中新統平牧層産植物化石

1) 論文

なし

2) 学会発表

- ①吉川博章, 2017. 愛知県豊橋市大岩町の更新統産大型植物化石と古環境. 第35回化石研究会総会. 2017年6月3-4日, 福井県立恐竜博物館（勝山市）.

3) 普及書など

なし

西 浩孝（学芸員：軟体動物）

調査研究の主テーマ：

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・東海地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・博物館の標本としての生物の動画

29年度テーマ：

- ・ニシキマイマイの殻形態変異と分子系統
- ・オモイガケナマイマイの形態変異
- ・東海地方の干潟における希少貝類の生息状況
- ・干潟再生事業により砂を導入した干潟における底生生物の定着状況
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の

生息状況

- ・園内のホタルミミズの生息状況
- ・動画を収蔵する際の課題

1) 論文

- ①早瀬善正・西 浩孝・河辺訓受・木村昭一・矢橋 真・大貫貴清・岩田明久・仲田彰男, 2017. 伊良湖岬の陸産貝類. かきつばた, (42) : 1-5.
- ②岩田明久・早瀬善正・木村昭一・西 浩孝・川瀬基弘・河辺訓受・矢橋 真・林 誠司・守谷茂樹・仲田彰男, 2017. 佐久島で確認された陸・淡水産貝類. かきつばた, (42) : 30-33.
- ③西 浩孝・西 邦雄, 2017. 宮崎県に分布するコウベマイマイ類似種. 九州の貝, (88) : 6-9.
- ④坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2018. 豊橋市の反茂池と上ノ池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (28) : 47-53.

2) 学会発表

- ①西 浩孝, 2017. 新潟県の陸産貝類～特にマイマイ属について～. 名古屋貝類談話会, 2017年5月14日, 名古屋市.
- ②石田 惣・中田兼介・西 浩孝・藪田慎司, 2018. 自然史博物館で動画をアーカイブする際に想定される課題：研究者アンケートからの考察. デジタルアーカイブ学会第2回研究大会, 2018年3月10日, 東京大学(東京都文京区).
- ③石田 惣・中田兼介・西 浩孝・藪田慎司, 2018. 博物館における生物動画データベースの公開と運用. 第65回日本生態学会大会, 2018年3月17日, 札幌コンベンションセンター（札幌市）.

3) 普及書など

なし

一田昌宏（学芸員：動物化石）

調査研究の主テーマ：

- ・ 紡錘虫類のタフォノミー的研究
- ・ 新しい紡錘虫類研究手法の開発
- ・ 飛騨外縁帯産化石の古生物学的研究
- ・ 現生有孔虫を用いた古生態学的研究
- ・ 付加体中の微化石に関する研究
- ・ 教育普及プログラムの開発

29年度テーマ：

- ・ タフォノミー解析に基づいた紡錘虫類層序の高精度化：阿哲石灰岩での例
- ・ 紡錘虫類層序の高精度化における産状観察の重要性
- ・ MicroCT-Scanを用いた紡錘虫類非破壊観察手法について
- ・ 岐阜県福地一ノ谷より産出した三葉虫類化石現生紡錘形底性有孔虫 *Alveolinella quaryi* と古生代紡錘虫類の死後破壊
- ・ ジュラ紀付加体石巻山ユニットの石灰岩体の堆積環境と産出化石についての予察的調査・研究
- ・ ジュラ紀付加体、重力流起源の石灰岩礫岩後背地推定による後期古生代パンサラッサ海山分布の再検討
- ・ 沖縄・西表島の“星の砂”の走査型電子顕微鏡を用いた教育普及活動への活用

1) 論文

なし

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

なし

(2) 研究会等への参加

①平成29年度愛知県博物館協会総会

期 日：平成29年6月8日（木）

場 所：名古屋市博物館

参加職員：坂本博一

②平成29年度学芸員専門研修アドバンスコース（地学コース）

期 日：平成29年11月6日（月）～9日（木）

場 所：国立科学博物館（筑波研究施設）

参加職員：一田昌宏

③全国科学博物館協議会第24回研究大会

期 日：平成30年2月15日（木）～16日（金）

場 所：福岡市科学館

参加職員：仲井慎治・安井謙介

④平成29年度愛知県博物館協会部門別研修会「照明で魅せる！！」

期 日：平成30年2月23日（金）

場 所：博物館明治村

参加職員：吉川博章

⑤平成29年度愛知県博物館協会部門別研修会「展示は撮影禁止？それとも撮影歓迎？」

期 日：平成30年3月7日（水）

場 所：南山大学

参加職員：長谷川道明

4. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	点数
《岩石・鉱物》				
2017. 06. 14	愛知県北設楽郡設楽町田峰 段戸山 豊川源流部	花崗岩 ペグマタイト	加藤千茶子	3
《貝類》				
2015. 03. 17	愛知県豊橋市 石巻山このしろ池付近	陸産貝類（石巻山産）	西 浩孝	2
2016. 11. 08	愛知県豊橋市大岩町 反茂池	陸淡水産貝類（反茂池産）	西 浩孝 坂本博一 松岡敬二	30
2016. 08. 26	愛知県設楽町・新城市	陸産貝類	西 浩孝 芳賀拓真 松岡敬二	67
2017. 07. 26	愛知県豊橋市向山町 向山大池	淡水産貝類	坂本博一 松岡敬二	3
2017. 04. 25	愛知県豊橋市前芝町 前芝海岸	海産貝類	西 浩孝 吉川博章 松岡敬二	4
《甲殻類》				
2016. 11. 08	愛知県豊橋市大岩町 反茂池	甲殻類（反茂池産）	西 浩孝	3
2017. 04. 25	愛知県豊橋市前芝町 前芝海岸	甲殻類	西 浩孝 一田昌宏 松岡敬二	4
《その他無脊椎動物》				
2017. 08. 10	愛知県豊橋市杉山町地先 汐川干潟	海産無脊椎動物（汐川干潟）	西 浩孝	3
《魚類》				
2017. 07. 26	愛知県豊橋市向山大池町	オオクチバス等（向山大池）	坂本博一	43
《爬虫類》				
2017. 05. 10	静岡県湖西市新居 橋本海岸	オサガメ	安井謙介 西 浩孝 一田昌宏	1
《鳥類》				
2017. 08. 19	愛知県豊橋市細谷町 小判田川河口東側 150m 程のテトラポット前	コアホウドリ	安井謙介	1
2018. 02. 09	愛知県豊橋市大岩町 豊橋市自然史博物館玄関前	マガモ	安井謙介	1
《哺乳類》				
2017. 05. 30	愛知県田原市赤羽根町字大石地先（太平洋ロングビーチ）	コマッコウ	安井謙介 西 浩孝 加藤千茶子	1

(2) 寄贈資料

資料名	寄贈者	受付年月日	点数
《古生物》			
珪化木	木村壯次	2017. 06. 01	1
手取層群産植物化石	安井謙介	2017. 07. 12	4
貝化石 ("Crepidula" sp.)	笠岡市カブトガニ博物館	2018. 01. 18	2
中生代産化石等	梅基昌之	2018. 02. 08	4
設楽層群産 植物・貝化石	河合佑治	2018. 03. 15	3
Verbeekina Limestone	一田昌真	2018. 03. 18	1
《岩石・鉱物》			
高師小僧、津具鉱山産鉱物、鉄電気石、ホルンフェルス等	愛知教育大学	2017. 12. 14	160
くいちがい石	村澤勇一	2017. 12. 16	5
花崗岩類	愛知教育大学	2017. 12. 21	400
K-T 層粘土層	梅基昌之	2018. 02. 08	1
《貝類》			
海産貝類 (伊良湖岬産)	西 浩孝	2017. 04. 01	22
海産貝類 (蒲郡市産)	西 浩孝	2017. 04. 01	7
淡水産二枚貝	小林ミエ	2017. 05. 20	6
海産貝類	西 浩孝	2017. 05. 30	11
淡水産貝類	小林ミエ	2017. 06. 08	1
陸産貝類	松岡敬二	2017. 06. 09	1
海産貝類	西 浩孝	2017. 06. 15	12
海産貝類 (浜名湖産)	西 浩孝	2017. 06. 27	2
海産貝類 (佐久島産)	西 浩孝	2017. 06. 27	92
海産貝類	木村昭一	2017. 06. 27	2
海産貝類	牧野伸一	2017. 07. 01	3
陸産貝類	吉川博章	2017. 07. 06	5
海産貝類 (ヒザラガイほか)	西 浩孝	2017. 07. 25	22
海産貝類 (アシヤガイほか)	西 浩孝	2017. 07. 25	18
海産貝類	西 浩孝	2017. 07. 27	34
陸産貝類	山口温子	2017. 08. 25	2
海産貝類	大村恵一	2017. 08. 29	30
ヒタチオビの一種	宮本 守	2017. 09. 01	1
海産貝類	吉川博章	2017. 09. 06	3
海産貝類	佐藤大義	2017. 09. 30	66
陸産貝類	西 浩孝	2017. 11. 07	9

陸産貝類	小林伸明	2017. 12. 24	6
ナミギセル	西 浩孝	2017. 01. 10	5
《甲殻類》			
甲殻類	西 浩孝	2017. 05. 30	1
ホウネンエビ	小林ミエ	2014. 06. 06	2
クーマ目の1種	西 浩孝	2017. 06. 13	1
カイエビ	志賀鉄三	2017. 07. 19	5
海産甲殻類	西 浩孝	2017. 07. 27	5
ハマトビムシ	西 浩孝	2017. 08. 22	2
海産甲殻類	佐藤大義	2017. 08. 27	8
スナガニ	吉川博章	2017. 09. 06	1
ハマトビムシ	西 浩孝	2017. 09. 22	7
《昆虫》			
ノコギリクワガタ雌雄モザイク	野田建二・平野稔也	2017. 07. 25	1
<i>Saperda hosokawai</i> (holotype)	長谷川道明	2017. 11. 05	1
《その他無脊椎動物》			
ウミイサゴムシ	西 浩孝	2017. 05. 30	1
ナメクジウオ	西 浩孝	2017. 06. 27	5
腕足動物	川瀬基弘	2017. 06. 27	1
海産無脊椎動物	牧野伸一	2017. 07. 01	7
腕足類	西 浩孝	2017. 07. 25	5
海産無脊椎動物	西 浩孝	2017. 07. 27	5
ハリガネムシ	西 浩孝	2017. 10. 10	1
淡水海綿 (扶桑町産)	西 浩孝	2017. 12. 01	2
ヒラムシ	山口浩一	2018. 03. 31	1
《魚類》			
アノマロクロミス・トーマシー	なごや生物多様性保全 活動協議会	2017. 10. 28	2
カグラザメ	蒲郡市竹島水族館	2017. 02. 14	1
《爬虫類》			
アカウミガメ (卵)	渡辺幸久	2017. 06. 22	3
シロマダラ	動植物公園飼育員	2017. 09. 20	1
シマヘビ、マムシ	渡辺幸久	2017. 11. 01	2
《鳥類》			
オオハム、イソシギ	中濱翔太	2016. 05. 24	12
ハイタカ	成瀬陽一、北田侑久 (黄 柳野高校)	2016. 05. 29	1

ヤマドリ剥製、キジ剥製	岡 達	2017. 04. 08	2
オオルリ	北田侑久、成瀬陽一	2017. 04. 26	1
カワセミ	みどりの協会	2017. 06. 17	1
シロエリオオハムほか鳥類 10 点	渡辺幸久	2017. 06. 22	10
鳥類 2 点	牧野伸一	2017. 07. 01	2
タンチョウ	北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	2017. 07. 29	2
ホトトギス	藤岡エリ子	2017. 09. 19	1
クロツグミ	山口温子（脇 純平）	2017. 10. 11	1
クロハラアジサシ 8、アジサシ 1	川田 隆	2017. 10. 26	9
オオバン	牧野伸一	2017. 10. 28	1
ジョウビタキ	成瀬陽一	2017. 10. 28	1
コムクドリ、コアホウドリ、ツバメ	渡辺幸久	2017. 11. 01	3
ハイタカ	山本博勝	2017. 11. 04	1
シロハラ	榊原健次郎	2017. 11. 22	1
アオバト	豊橋市美術博物館	2017. 12. 12	1
アカゲラ	竹生直行	2018. 01. 05	1
ツグミ	平尾和宏	2018. 01. 11	1
カンムリカイツブリ	県立時習館高校 山口 先生	2018. 03. 07	1
ハイタカ	豊橋市美術博物館	2018. 03. 16	1
《哺乳類》			
イタチ属の 1 種	武田芳男	2017. 04. 06	1
ニホンジカ（トロフィー）	岡 達	2017. 04. 08	1
ニホンジカ	山口恵子・山口温子	2017. 05. 23	1
ハクビシン（頭）	山口温子	2017. 06. 15	1
タヌキ	渡辺幸久	2017. 06. 22	2
コウベモグラ	藤岡エリ子	2017. 07. 06	1
タヌキ	西 浩孝	2017. 10. 15	1
ハクビシン 2 点	渡辺幸久	2017. 11. 01	2
タヌキ	今井尚子	2017. 11. 04	1
ニホンジカ	山口恵子・白井朝子	2018. 01. 24	1
ホッキョクグマ	動植物公園	2018. 01. 31	1
キツネ	藤巻一成	2018. 02. 07	1

(3) 収蔵資料状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分	記号	平成29年度 受入点数	平成29年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登 録資料合計
古生物部門	TMNH	15	609	10,724	54,652	65,376
岩石・鉱物部門	TMNH-R	569	65	3,966	4,651	8,617
植物部門	TMNH-B	0	0	16,402	17,934	34,336
動物部門		649	555	67,600	357,003	424,603
その他(民芸品等)		0	0	0	6	6
計		1,233	1,229	98,692	434,246	532,938
(動物部門内訳)						
貝類	TMNH-MO	466	184	34,820	148,347	183,167
甲殻類	TMNH-C	39	14	45	1,710	1,755
昆虫類	TMNH-I	2	210	28,963	204,212	233,175
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	26	11	57	669	726
魚類	TMNH-F	46	49	2,384	1,482	3,866
両生類	TMNH-AM	0	0	77	49	126
爬虫類	TMNH-RE	7	0	147	65	212
鳥類	TMNH-AV	46	52	565	254	819
哺乳類	TMNH-MA	17	35	542	215	757

(4) 鳥類等の資料化

自然史博物館では、交通事故や窓ガラスなどに衝突して死亡した野生動物を市民の協力を得て収集している。平成 29 年度に剥製あるいは骨格標本などに資料化したものは以下のとおりである。

種名	形状	数量
ミサゴ	本剥製、胴部の骨	1
キレンジャク	本剥製、胴部の骨	1
カケス	本剥製、胴部の骨	1
タシギ	本剥製、胴部の骨	1
カンムリカイツブリ	本剥製、胴部の骨	1
計		5

(5) マッコウクジラの発掘

平成 27 年 7 月に豊橋市高塚町の海岸にて骨格標本作製のため解剖し、その後同地に埋設したマッコウクジラの掘り出しを平成 29

年 10 月 4 日～5 日に行った。なお、掘り出したマッコウクジラの骨は、仕上げ作業を行うために自然史博物館へ搬入した。

(6) 外部研究者の資料利用

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、平成 29 年度は 1 件を受入れた。

①件 名：甲虫類の構造色の進化発生学上の研究

利用者：自然科学研究機構基礎生物学研究所 安藤俊哉

内 容：コガネムシ科甲虫の標本

(7) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

①貸出先：こども未来館

目 的：ラボブースにおける展示、およびワークショップ

貸出期間：平成29年7月12日～9月7日
貸出資料：骨格標本・魚類標本、貝類標本
102点

②貸出先：浜松市博物館
目的：テーマ展「土の中のわくわく動物園」での展示のため
貸出期間：平成29年7月18日～9月15日
貸出資料：剥製、骨格標本、生態画像等
13点

③貸出先：国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 環境考古学研究室
目的：3次元計測（非破壊）による骨格図の作成及びレプリカ製作
貸出期間：平成29年10月25日～平成30年10月31日
貸出資料：カリフォルニアアシカ全身分離骨格1点（TMNH-MA-370）

④貸出先：碧南海浜水族館
目的：特別企画展「これ誰の家？～生き物たちのマイホーム～」に展示のため
貸出期間：平成29年12月21日～平成30年3月10日
貸出資料：陸産貝類標本90点

⑤貸出先：浜松市博物館
目的：平成29年度干支展「戌—イヌにちなむ—」に展示のため
貸出期間：平成30年1月18日～5月15日
貸出資料：自然史博物館標本・資料81点

⑥貸出先：名古屋市科学館
目的：特別展「マーベル展 時代が創造したヒーローの世界」に展示のため
貸出期間：平成30年1月30日～6月中旬

貸出資料：魚類標本（オオワニザメ全身の皮標本）1点

2) 借用

①借用先：神奈川県立生命の星・地球博物館
目的：展示標本および学習標本として利用するため
借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日
借用資料：ストロマトライト、リップルマークなどの岩石標本9点

②借用先：丸山 隆
目的：企画展 丸山隆写真展「ホンドテン」に展示のため
借用期間：平成29年11月18日～12月10日
借用資料：写真展「ホンドテン」パネル1式

③借用先：浜松市博物館
目的：企画展「戌—イヌにちなむ—」に展示のため
借用期間：平成29年12月13日～平成30年1月19日
借用資料：歴史・民俗学的資料18点

(8) 図書

1) 購入図書

(単行本)

(8冊)

書名	著者・編集・監修者	出版社
犬の遺伝性 骨・関節疾患	J. P. Morgan, A. Wind, A. P. Davidson (著)；古曳利恵 (訳)	緑書房
手の百科事典	バイオメカニズム学会 (編)	朝倉書店
ケント脊椎動物の比較解剖学	G. C. Kent, R. K. Carr (著)；谷口和之・福田勝洋 (訳)	緑書房
改訂新版 世界文化生物大図鑑 鳥類	黒田長久 (編)	世界文化社
改訂新版 日本の野生植物 1	大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編)	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 2	大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編)	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 3	大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編)	平凡社
日本近海産貝類図鑑 第2版	奥谷喬司 (編著)	東海大学出版部

(雑誌類)

(46冊)

雑誌名	巻号数	出版社
日経サイエンス	第47巻第4～12号、第48巻第1～3号(12冊)	日経サイエンス社
科学	第87巻4～12号、第88巻1～3号(12冊)	岩波書店
遺伝	第71巻第3～6号、第72巻第1～2号(6冊)	エヌ・ティー・エス
生物科学	第68巻第3～4号、第69巻1～2号(4冊)	日本生物科学者協会
昆虫と自然	第52巻第4号、6～13号、第53巻第1～3号(12冊)	ニューサイエンス社

2) 交換・寄贈図書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

国内：285機関から842冊

国外：11カ国29機関から95冊

個人：8人から61点

3) 図書資料収蔵点数

41,993点(平成30年3月31日現在)

5. 施設整備

(1) 修繕等

①学習室1空調設備取替修繕

学習室1の空調設備の取替修繕を行った。

契約金額：972,000円

請負業者：三栄低温工業株式会社

修繕期間：平成29年6月7日～28日

②事務室空調設備取替修繕

事務室の空調設備の取替修繕を行った。

契約金額：1,242,000円

請負業者：三栄低温工業株式会社

修繕期間：平成29年6月7日～28日

③エレベータ1号機及び2号機修繕

エレベータが安全かつ良好な運転状態を保てるよう、バッテリー等各種装置を交換する修繕を行った。

契約金額：2,160,000円

請負業者：東芝エレベータ株式会社

修繕期間：平成29年6月26日～9月21日

④事務室、学習室1及び学習室2空調設備取替修繕

事務室、学習室1及び学習室2の空調設備取替修繕を行った。

契約金額：698,760円

請負業者：株式会社藤環

修繕期間：平成29年8月31日～10月6日

⑤屋上防水改修工事

雨漏りを防ぐため、屋上防水改修工事を行った。

契約金額：3,387,960円

請負業者：株式会社東海工事

修繕期間：平成29年9月8日～11月22日

⑥中生代展示室壁面恐竜CG演出用機器取替修繕

中生代展示室壁面恐竜CG演出を正常に上

映できるよう、プロジェクター等の取替修繕を行った。

契約金額：2,376,000円

請負業者：株式会社丹青社

修繕期間：平成29年10月13日～12月20日

⑦屋上鳥除け電気ショック改修

エドモントサウルス展示室屋上に鳥除けのため、電子ショックを敷設する改修を行った。

契約金額：918,000円

請負業者：株式会社ニシ

修繕期間：平成29年11月1日～28日

⑧展示室監視設備取替修繕

展示室監視設備に関するレコーダー及びモニター等の取替修繕を行った。

契約金額：783,000円

請負業者：イトウ通信サービス株式会社

修繕時期：平成29年11月22日～12月19日

⑨ピカイアチェックラリースerverハードディスク取替修繕

ピカイアチェックラリースerverを正常に稼働させるため、ハードディスクの取替修繕を行った。

契約金額：864,000円

請負業者：株式会社丹青社

修繕期間：平成29年12月28日～平成30年1月31日

⑩プシッタコサウルス動刻タイマー取替修繕

プシッタコサウルス動刻を正常に稼働させるため、タイマーの取替修繕を行った。

契約金額：216,000円

請負業者：株式会社丹青社

修繕期間：平成30年3月14日～30日

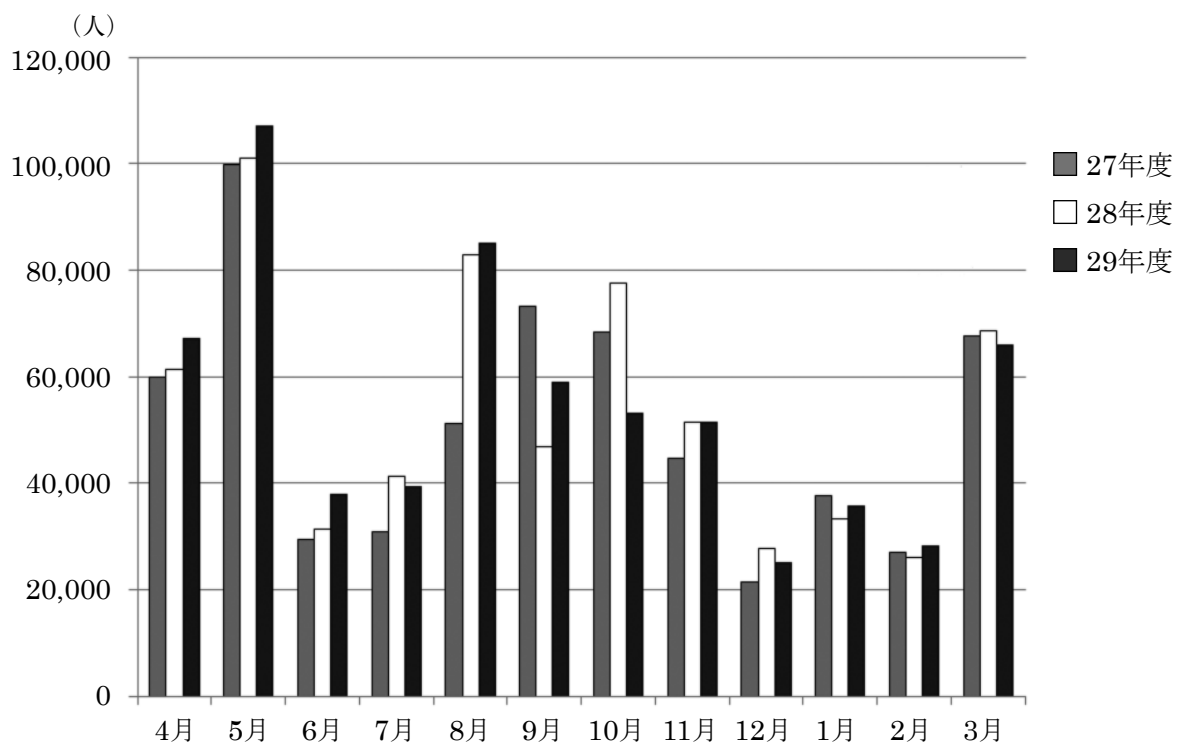
Ⅱ. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	27年度			28年度			29年度		
	入館者 人	前年比 %	動植物公園 人	入館者 人	前年比 %	動植物公園 人	入館者 人	前年比 %	動植物公園 人
4月	59,997	11.1	78,531	61,474	2.5	77,557	67,227	9.4	84,980
5月	99,910	3.7	119,339	101,064	1.2	122,479	107,179	6.1	132,708
6月	29,444	8.7	36,042	31,477	6.9	38,750	37,889	20.4	47,663
7月	30,944	21.2	37,469	41,409	33.8	50,190	39,432	△4.8	48,727
8月	51,110	△3.3	64,165	82,965	62.3	100,012	85,064	2.5	101,527
9月	73,184	21.2	97,537	46,988	△35.8	54,551	59,074	25.7	74,940
10月	68,455	25.9	89,000	77,497	13.2	95,617	53,194	△31.4	67,397
11月	44,668	△5.7	55,835	51,393	15.1	62,776	51,476	0.2	70,783
12月	21,378	29.6	26,153	27,669	29.4	34,336	24,999	△9.6	34,554
1月	37,675	49.5	46,981	33,384	△11.4	42,265	35,748	7.1	47,000
2月	26,956	31.5	36,147	26,181	△2.9	32,679	28,220	7.8	34,989
3月	67,550	19.6	84,455	68,523	1.4	86,309	65,988	△3.7	93,369
年計	611,271	13.9	771,654	650,024	6.3	797,521	655,490	0.8	838,637
累計	13,008,323	—	—	13,658,347	—	—	14,313,837	—	—

※平成4年4月29日、「動物園」と「自然史博物館」が一体の有料都市公園施設となり、名称が『豊橋総合動植物公園』となる。平成8年4月27日植物園オープン。



(2) 入館者種別

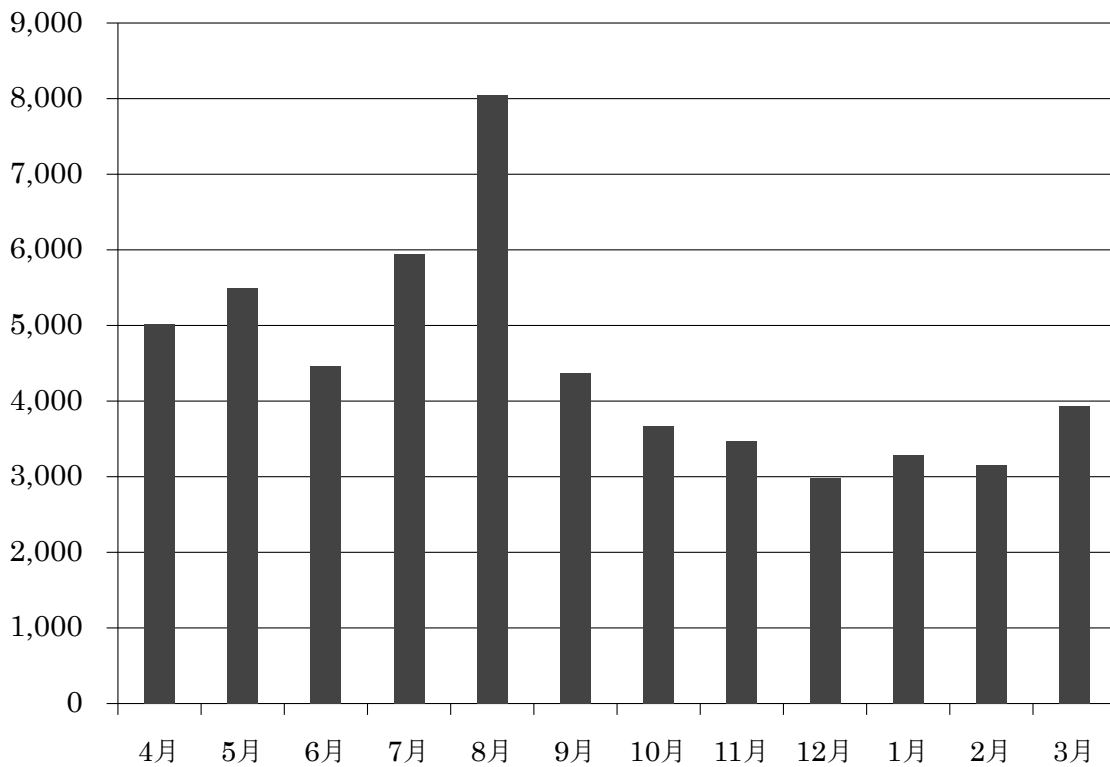
(項目別入館者数)

区分	日曜等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	69 日	49 日	195 日	313 日
入館者総数	327,305 人	141,092 人	187,093 人	655,490 人
1 日平均	4,744 人	2,879 人	959 人	2,094 人
1 か月平均	27,275 人	11,758 人	15,591 人	54,624 人
1 日最高入館者	5 月 5 日 14,833 人	9 月 9 日 6,780 人	10 月 20 日 8,056 人	—

(3) ホームページ閲覧者数

月	アクセス数		
	トップページ	英語版	携帯版
平成 29 年 4 月	5,020	12	50
平成 29 年 5 月	5,490	24	35
平成 29 年 6 月	4,460	25	18
平成 29 年 7 月	5,942	27	15
平成 29 年 8 月	8,045	30	33
平成 29 年 9 月	4,373	13	18
平成 29 年 10 月	3,673	23	17
平成 29 年 11 月	3,474	22	30
平成 29 年 12 月	2,980	18	13
平成 30 年 1 月	3,286	22	16
平成 30 年 2 月	3,158	18	19
平成 30 年 3 月	3,931	20	42
計	53,832	254	306

※豊橋市自然史博物館ホームページ：<http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>
 ホームページ開設：2000年10月7日



(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	27年度			28年度			29年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	26	690	0.6	26	729	5.7	26	678	△7.0
5	27	1,001	4.6	27	1,022	2.1	26	1,014	△0.8
6	25	732	22.2	26	714	△2.5	26	606	△15.1
7	27	585	3.9	27	567	△3.1	26	591	4.2
8	26	621	△12.2	27	640	3.1	27	582	△9.1
9	26	548	△8.4	26	525	△4.2	26	464	△11.6
10	27	604	25.8	26	624	3.3	26	595	△4.6
11	25	528	△18.3	26	523	△0.9	26	620	18.5
12	27	625	11.4	24	663	6.1	27	568	△14.3
1	27	885	6.8	27	827	△6.6	26	856	3.5
2	24	403	△28.4	24	472	17.1	24	444	△5.9
3	27	805	3.7	27	728	△9.6	27	804	10.4
計	314	8,027	0.8	313	8,034	0.1	313	7,822	△2.6

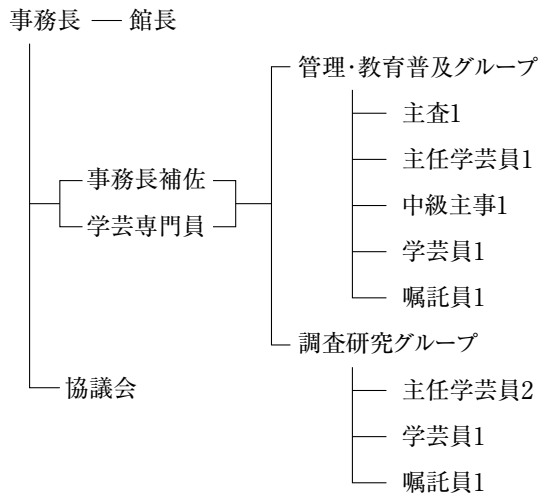
※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。

※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

Ⅲ. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織（平成30年3月31日）



(2) 自然史博物館職員（平成30年3月31日）

役職名	氏名
館長（嘱託員）	松岡敬二
事務長	仲井慎治
事務長補佐	坂本博一
学芸専門員	長谷川道明
主査	田村亨
主任学芸員	加藤千茶子
主任学芸員	安井謙介
主任学芸員	吉川博章
中級主事	丹羽美春
学芸員	西浩孝
学芸員	一田昌宏
嘱託員	鈴木豊
嘱託員	足立修

2. 博物館の使用料等

- ①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。（平成4年4月29日以降）

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600円	480円
小・中学生	100円	80円

※学齢に達しない者は、無料とする。

- ②使用料（観覧等）：自然史博物館条例第4条
特別企画展観覧料（以下の金額の範囲内）

区分	特別企画展観覧料 （1人1回につき）	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小・中学生	400円	300円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30名以上とする。

大型映像観覧料（以下の金額の範囲内）

区分	大型映像観覧料 （1人1回につき）	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	600円	480円
小人（中学生以下）	200円	160円

※個人利用において学齢に達しない者は、
保護者1人につき1人に限り無料とする。

※団体とは、30名以上とする。

- ③手数料：自然史博物館条例第5条
博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料
複写	1枚につき	20円
模写	1点につき	1,020円
模造	1点につき	1,020円
拓本	1点につき	1,020円
撮影	撮影した写真を出版物等への掲載を目的とする場合	1,020円
	その他の場合	300円

④講堂、特別企画展示室使用料：

自然史博物館条例第6条

区分	単位	使用料
講堂	午前9時から正午まで	円 3,450
	午後1時から午後4時30分まで	4,080
	午前9時から午後4時30分まで	7,530
特別企画展示室	午前9時から正午まで	9,430
	午後1時から午後4時30分まで	10,480
	午前9時から午後4時30分まで	19,910

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 平成29年度歳入歳出決算見込

(歳入)

費目	説明	決算見込額
使用料	観覧料等	円 11,340,812
手数料	資料複写等手数料	16,320
財産運用収入	その他賃借料	232,560
諸収入	図録頒布収入	356,000
	講座等収入	46,400
	広告料収入	492,000
	電話収入	2,070
	光熱水費収入	110,992
	小計	1,007,462
合計		12,597,154

(歳出)

費目	決算見込額	費目	決算見込額
報酬	円 9,429,600	(光熱水費)	円 11,370,466
給料	42,752,460	(修繕料)	12,453,685
職員手当等	30,917,103	(医薬材料費)	4,780
共済費	16,620,125	役務費	1,006,906
賃金	3,716,170	委託料	32,396,875
報償費	122,000	使用料及び賃借料	2,866,051
旅費	777,360	工事請負費	3,387,960
需用費	30,460,548	原材料費	15,000
(消耗品費)	4,360,729	備品購入費	1,327,149
(燃料費)	143,668	負担金、補助及び交付金	579,420
(食糧費)	13,190	公課費	8,800
(印刷製本費)	2,114,030	計	176,383,527

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：平成 29 年 7 月 25 日（火）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員 10 人、事務局 6 人

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について
 会 長 榊原健二郎
 副会長 神藤安之
- ・平成 28 年度自然史博物館事業報告について
 - (1) 教育普及活動
 - (2) 調査研究活動
 - (3) 資料収集・保管活動
 - (4) 利用状況及び運営
- ・平成 29 年度自然史博物館主要事業について
 - (1) 科学教育環境の充実
 - ①施設管理事業
 - (2) 自然科学を学ぶ機会の充実
 - ①重点事業
 - ②教育普及活動
 - ③調査研究活動

第2回

期 日：平成 29 年 12 月 7 日（木）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員 8 人、事務局 7 人

議 題：

- ・平成 29 年度の主な活動等について
 - (1) 第 32 回特別企画展
 - (2) 平成 29 年度の主な事業
- ・平成 30 年度自然史博物館の主要事業計画（案）について
 - (1) 開館 30 周年記念事業
 - ①第 33 回特別企画展
 - ②野外恐竜ランドブラキオサウルス塗り替え
 - ③開館 30 周年記念企画展
 - (2) 科学教育環境の充実
 - ①施設管理事業
 - (3) 自然科学を学ぶ機会の充実

①重点事業

②教育普及活動

- ・博物館協議会調査研修について

第3回

期 日：平成 30 年 3 月 1 日（木）

場 所：あいち航空ミュージアム

出席者：委員 5 人、事務局 5 人

議 題：

- ・平成 29 年度の主な活動等について
 - (1) 第 32 回特別企画展
 - (2) 平成 29 年度の主な事業
- ・平成 30 年度自然史博物館主要事業計画（案）について
 - (1) 開館 30 周年記念事業
 - (2) 科学教育環境の充実
 - (3) 自然科学を学ぶ機会の充実
- ・博物館の調査研修について
 平成 29 年 11 月にオープンした「あいち航空ミュージアム」の運営、展示方法などを調査研修

豊橋市自然史博物館協議会委員

（平成 29 年度）

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	神藤安之	学校教育
小中学校長会代表	中村佳嗣	〃
自治連合会代表	山本和男	社会教育
自然史博物館ボランティア元代表	大谷順子	〃
小中学校PTA連絡協議会代表	横田美加	家庭教育
小中学校PTA連絡協議会代表	市野友美	〃
元野依小学校校長	榊原健二郎	学識経験
元松葉小学校校長	安村信弘	〃
元豊城中学校教頭	中神則子	〃
愛知教育大学教授	河村善也	〃

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴取する。平成29年度は、審査案件がなかったため未開催。

豊橋市自然史博物館資料収集委員

(平成29年度)

選出分野	氏名	所属・役職
地学	河村善也	愛知教育大学教授
動物	江田信豊	南山大学教授
植物	藤井伸二	人間環境大学准教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：平成29年6月27日（火）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員4人、事務局8人

議 題：

- (1) 平成29年度の事業について
 - ・第13回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
 - ・第32回特別企画展「武器甲虫—クワガタ、カブトの進化を探る—」
- (2) 学校連携事業の充実と博物館利用の促進について

第2回

期 日：平成29年9月20日（水）～24日（日）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員8人、事務局2人

議 題：

- (1) 第13回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

期 日：平成30年3月9日（金）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員5人、事務局8人

議 題：

- (1) 平成29年度の事業報告
 - ・第13回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
- (2) 来年度の自由研究展実施スケジュール等について
- (3) 学校連携事業の充実と利用促進について
 - ・出前授業／標本貸出セット

豊橋市自然史博物館研究委員（平成29年度）

区分	氏名	所属・役職
委員長	鈴木秀治	本郷中学校長
委員	田中政雄	章南中学校教諭
委員	高林英伸	南稜中学校教諭
委員	藪田ちひろ	豊城中学校教諭
委員	福井宏之	高根小学校教諭
委員	稲橋卓	富士見小学校教諭
委員	太澤あやこ	高豊中学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：平成29年6月22日（木）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

出席者：委員長、委員5人、事務局3人

欠席者：なし

議 題：

- ・大型映像平成29年度後期からの番組配給候補者の選定
- ・その他

議事内容

1. 委員長あいさつ
2. 提案書に基づき番組配給候補者によるプレゼンテーションと質疑応答。
3. 委員による採点、番組配給受託候補者の選定。

豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員
(平成 29 年度)

区分	氏名	所属・役職
委員長	伊藤 嘉 邦	総合動植物公園部長
委員	仲井 慎 治	自然史博物館事務長
	瀧川 直 史	動植物公園長
	高林 英 伸	豊橋市立中学校理科 研究部長
	千種 優 子	豊橋市立小学校理科 研究部長
	都築 則 雄	豊橋観光コンベン ション協会常務理事

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成 8 年度より博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料整理ボランティア」がある。平成 29 年度は、68 人が登録し、活動を行った。

(1) 主な活動

1) 平成29年度ボランティア説明会及び研修

平成 24 年度より新規応募者向けにボランティア活動を紹介する説明会を開催している。平成 29 年度は 8 人の応募者があり、所定の研修後、7 人を採用した。

2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に 7 人が選出され、9 回の運営委員会が開催された。

3) ボランティア・ガイドツアー

ボランティアによる常設展示室のガイドツアーを平成 22 年度より開催。平成 26 年 1 月からは毎週土・日曜日に実施し、好評を得ている。平成 29 年度の開催回数は 191 回、参加人数は 4,215 人であった。

4) ボランティア通信「ぶしたこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぶしたこ」を 22 号から 24 号まで発行した。

5) 企画展「ボランティアが作った科学教材」の開催

前年度の科学教材集の発行に伴い、実際に科学教材を展示・実演する企画展を博物館と共催した。

6) 特別企画展関連行事での活動

「武器甲虫」の会場内にて、立体クラフトコーナー、ふれあいケージでの体験のサポートなどを行った。

7) 恐竜大掃除

平成 29 年 12 月 22 日（金）に開催された恐竜大掃除に 18 人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともに行った。

8) ボランティア野外研修（初開催）

今後のボランティア活動に資するため、初めて野外研修会を開催した。

期 日：平成 30 年 2 月 24 日（土）

場 所：岐阜県大垣市、大垣城及び金生山

内 容：石灰岩の化石と化石産地の見学

参加者：16 人

9) ボランティア主催行事

下記の行事を自主的に企画し、開催した。

①ボランティア総会

期 日：平成 29 年 5 月 11 日（木）

参加者：23 人

②第 8 回自主研修会・博物館見学

期 日：平成 29 年 6 月 25 日（土）

場 所：滋賀県立琵琶湖博物館

参加者：35 人

③ボランティア懇親会

期 日：平成 29 年 9 月 22 日（金）

場 所：豊橋市内

参加者：34 人

④ボランティア交流会及び意見交換会

期 日：平成 30 年 3 月 3 日（土）

参加者：23 人

(2) 豊橋市教育奨励賞の受賞

20 年を超えるボランティア活動が評価され、豊橋市より豊橋市教育奨励賞を受賞した。

受賞日：平成 29 年 8 月 1 日（火）

平成 29 年度のボランティア活動実績（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

分野	登録人数 (人)	活動のべ人数 (人)	活動のべ時間 (時間)	活 動 内 容	
運営委員会	7	79	240	自主研修等の企画・運営	
編集委員会	6	26	74	ボランティア通信の編集・発行	
教育普及	29	403	1,341	特別企画展解説、企画展解説等	
資 料 整 理	植物	2	0	標本台紙貼等	
	貝類	7	77	187	標本ラベル記入、リスト作成等
	昆虫	5	77	174	標本作製等
	魚類	3	56	151	標本作製等
	脊椎動物	17	253	732	標本作製等
	化石	13	213	487	化石クリーニング、登録等
	鉱物・岩石	4	37	168	登録、リスト作成等
	図書	2	58	68	図書受入、登録、配架等
小計	53	771	1,967		
合計	95	1,279	3,622		

※登録人数は 68 人、内 13 人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 18 条の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 2

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。
- (5) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。
- (6) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史に関する展示又は博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等のために自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第 4 に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用料等の減免)

第 7 条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

(使用の制限)

第 8 条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めるとき。

(権利譲渡の禁止等)

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用承認の取消等)

第10条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認められた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 公益上又は管理上特に必要があると認められたとき。

(使用料等の還付)

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認められたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第12条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認められたとき。

(2) 管理上支障があると認められたとき。

(原状回復)

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由

があると認められたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(自然史博物館協議会)

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例8号〕

(委 任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

※別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 53ページ ②

〳 別表第2. 〳 〳

第5条 別表第3. 53ページ ③

第6条 別表第4. 54ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認められたときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時か

ら午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただ

し、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第

- 4) を申請者に交付する。
- 2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕
(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕
(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 市長の発行する敬老バッジ又はシルバー優待カードの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河広域連合の交付するほの国こどもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

オ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 市長が特別の事情があると認めたとき。

2 前項第1号ウ及び第2号の規定により

使用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(ウを除く。)の規定により使用料の免除を受けようとする者は、それぞれに掲げる免除事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・16年7号・25年4号・27年10号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めたとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・8年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、教育委員会が適当と認めたものについては、この限りでない。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

2 博物館資料を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）は、資料寄託申請書（様式第9）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書（様式第10）を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（自然史博物館協議会）

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市自然史博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。

3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（会 議）

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（説明又は資料の請求等）

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（委 任）

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会要綱

（目 的）

第1条 この要綱は、豊橋市自然史博物館において収集する自然史博物館及び地下資源館博物館資料（以下「博物館資料」という。）の購入・寄贈等事務に関し必要な事項を定め、もって、購入・寄贈等事務の円滑かつ適正な運営に資することを目的とする。

（意見聴取）

第2条 市長は、次に掲げる資料を博物館資料として購入・寄贈等により資料を受けようとするときは、あらかじめ豊橋市自然史博物館資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）に資料の学術的価値及びその価格等について意見を聴くものとする。ただし、資料の購入・寄贈等が緊急を要する場合には、豊橋市自然史博物館資料収集委員会委員（以下「委員」という。）のうち、当該資料に係る専門的知識を有するものの意見の聴取に代えることができる。

(1) 評価額が1点100万円以上の資料

(2) 前号の資料に併せ購入・寄贈等を受ける資料

(3) 同一の相手から同時に購入等する資料で総額が500万円を超えるもの

(4) その他市長が必要と認める資料

2 市長は、前項各号に掲げる資料以外の資料を博物館資料として購入・寄贈等を受けようとするときは、あらかじめ当該資料に係る専門家又は学術経験者の意見を聴くものとする。

3 前2項の規定は、学術的価値が定着している場合その他の資料の適正な評価が保証されている場合には、適用しない。

（収集委員会）

第3条 前条第1項の規定に基づき、資料の学術的価値及びその価格等についての意見を聴くため、収集委員会を置く。

2 収集委員会は、委員5人以内で組織する。

3 委員は、地学、動物及び植物の各分野の

専門家又は学術経験者のうちから市長の承認を得て、教育長が委嘱する。

4 第2項の委員のほか、教育長は、専門的知識の必要性に応じ、臨時委員を委嘱することができる。この場合において、前項の規定を準用する。

5 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

6 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(収集委員会の業務)

第4条 収集委員会は、市長の諮問に応じ、意見書の提出に当たり、資料に関し次に掲げる事項を検討し、調書を作成するものとする

- (1) 資料の真贋及び学術的価値
- (2) 価格の適否
- (3) 購入・寄贈等の受入れの適否
- (4) その他市長が必要と認める事項

2 諮問に係る資料については利害関係を有する委員は、前項の規定による検討及び調書の作成事務に加わることができない。

(庶務)

第5条 収集委員会の庶務は、豊橋市自然史博物館において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附則

この要綱は、平成12年5月10日から施行する。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館（以下「自然史博物館」という。）の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会（以下「研究委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業につ

いて、必要に応じ協議し、助言を行う。

- (1) 自然史博物館の施設利用に関すること。
- (2) 学校との連携事業に関すること。
- (3) その他特に必要と認められること。

(委員)

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科又は美術を担当するものうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

(委員会)

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(守秘義務)

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同様とする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(委任)

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

自然史博物館の概要

経過

昭和58年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和60～62年度	建設工事（市制施行80周年記念事業）
昭和63年5月1日	開館
平成4年4月29日	総合動植物公園オープン
平成4年12月19日	大型映像スタート
平成7年3月25日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成16年4月29日	古生代展示室展示改装オープン
平成20年4月26日	中生代展示室展示改装オープン
平成28年5月2日	新生代展示室展示改装オープン

展示室等面積

単位：㎡ 常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成4年)	増築面積 (平成14年)	増築面積 (平成18年)	計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代 展示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・ その他	1,591	887	0	0	2,478	その他	299
合計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,215

※1 1階（ガラパゴス含む）：500㎡、2階：189㎡

※2 古生代展示室：506㎡、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794㎡、
新生代展示室：442㎡

平成30年3月31日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第 30 号 平成 29 年度

平成 30 年 6 月 30 日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒 441-3147

豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

印刷 有限会社 伊藤印刷

〒 440-0004

豊橋市忠興三丁目 3-7

電話 (0532)63-6385

FAX (0532)39-3985